明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

官報
號外
昭和二十年十二月十二日

○第八十九回帝國議會　衆議院議事速記錄第十一號

昭和二十年十二月十一日（火曜日）

　午後一時三十五分開議

議事日程　第十號

　昭和二十年十二月十一日

　　午後一時開議

第一　昭和二十年勅令第五百四十二號（「ポツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件）（承諾ヲ求ムル件）（貴族院送付）

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一、去十日議長ニ於テ撤囘ヲ許可シタル議案左ノ如シ

海外同胞緊急歸還決議案

　提出者

一宮房次郎君　今井　健彥君
加藤鐐五郎君　作田高太郎君
齋藤　隆夫君　田邊　七六君
高橋　守平君　東鄕　實君
中井川　浩君　八角　三郎君
鶴見　祐輔君　太田　正孝君
愛野時一郎君　猪野毛利榮君
金井　正夫君　窪井　義道君
久山　知之君　小平　權一君
小高長三郎君　小山邦太郎君
豐田　收君　濱野徹太郎君
松永　東君　松村　光三君
前田房之助君　小山倉之助君

食糧輸入促進決議案

　提出者

一宮房治郎君　今井　健彥君
加藤鐐五郎君　作田高太郎君
齋藤　隆夫君　田邊　七六君
高橋　守平君　東鄕　實君
中井川　浩君　八角　三郎君
鶴見　祐輔君　太田　正孝君
愛野時一郎君　猪野毛利榮君
金井　正夫君　窪井　義道君
久山　知之君　小平　權一君
小高長三郎君　小山邦太郎君
豐田　收君　濱野徹太郎君
松永　東君　松村　光三君
前田房之助君　小山倉之助君

戰災復興促進決議案

　提出者

一宮房次郎君　今井　健彥君
加藤鐐五郎君　作田高太郎君
齋藤　隆夫君　田邊　七六君
高橋　守平君　東鄕　實君
中井川　浩君　八角　三郎君
鶴見　祐輔君　太田　正孝君
愛野時一郎君　猪野毛利榮君
金井　正夫君　窪井　義道君
久山　知之君　小平　權一君
小高長三郎君　小山邦太郎君
豐田　收君　濱野徹太郎君
松永　東君　松村　光三君
前田房之助君　小山倉之助君

一、政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

貿易資金設置ニ關スル法律案

　（以上十二月十日提出）

一、議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

在外同胞救援ニ關スル決議案

　提出者

上田　孝吉君　藤本　捨助君
小山田義孝君　楠見　省吾君
中村三之丞君　中谷　武世君
福家　俊一君　原口　純允君
濱田　尙友君　藤生安太郎君
岸井　壽郎君　木下　郁君
杉山元治郎君

食糧輸入促進決議案

　提出者

一宮房治郎君　今井　健彥君
加藤鐐五郎君　作田高太郎君
齋藤　隆夫君　田邊　七六君
高橋　守平君　東鄕　實君
中井川　浩君　八角　三郎君
鶴見　祐輔君　太田　正孝君
愛野時一郎君　猪野毛利榮君
金井　正夫君　窪井　義道君
久山　知之君　小平　權一君
小高長三郎君　小山邦太郎君
豐田　收君　濱野徹太郎君
松永　東君　松村　光三君
前田房之助君　小山倉之助君
眞藤愼太郎君　木下　義介君
有馬　英治君　川島正次郎君
眞崎　勝次君　星野靖之助君
松野　鶴平君　安藤　正純君
紫安新九郎君　牧野　良三君
星島　二郎君　松岡　俊三君
北　昤吉君　藤生安太郎君
大口　喜六君　木村　武雄君
箸本　太吉君　松山常次郎君
三木　武吉君　庄司　一郎君
河野　密君　松本治一郎君
川俣　清音君　正木　清君
山崎　常吉君

戰災復興促進決議案

　提出者

一宮房治郎君　今井　健彥君
加藤鐐五郎君　作田高太郎君
齋藤　隆夫君　田邊　七六君
高橋　守平君　東鄕　實君
中井川　浩君　八角　三郎君
鶴見　祐輔君　太田　正孝君
愛野時一郎君　猪野毛利榮君
金井　正夫君　窪井　義道君
久山　知之君　小平　權一君
小高長三郎君　小山邦太郎君
豐田　收君　濱野徹太郎君
松永　東君　松村　光三君
前田房之助君　小山倉之助君
眞藤愼太郎君　木下　義介君
有馬　英治君　川島正次郎君
眞崎　勝次君　星野靖之助君
松野　鶴平君　安藤　正純君
紫安新九郎君　牧野　良三君
星島　二郎君　松岡　俊三君
北　昤吉君　藤生安太郎君
大口　喜六君　木村　武雄君
箸本　太吉君　松山常次郎君
三木　武吉君　庄司　一郎君
河野　密君　松本治一郎君
川俣　清音君　正木　清君
山崎　常吉君

新聞雜誌ノ用紙ニ關スル建議案

　提出者

山口喜久一郎君　庄司　一郎君

戰災復興促進竝戰災者ノ生活安定確保ニ關スル建議案

　提出者

石坂　繁君　小浦　總平君
寺田　市正君　伊豆　富人君

府縣知事公選竝地方制度改革ニ關スル法律案提出ニ關スル建議案

　提出者

小野　秀一君

　（以上十二月十日提出）

一、昨十日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案（政府提出、貴族院送付）委員

委員長　小柳　牧衞君

理事

坂本宗太郎君　仲井間　宗一君

藤井伊右衞門君

一、昨十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

勞働組合法案（政府提出）委員

安藤　覺君　伊藤東一郎君
泉　國三郎君　小高長三郎君
小野　義一君　川崎巳之太郎君
黑田　巖君　小浦　總平君
小林鐵太郎君　下出　義雄君
角　猪之助君　添田敬一郎君
田中　貢君　中川　寛治君
長井　源君　野田　武夫君
野本吉兵衞君　廣野規矩太郎君
福田　重清君　松村　光三君
村松　久義君　吉川　大介君
米田　吉盛君　安藤　孝三君
稻葉　圭亮君　今井　新造君
菅野和太郎君　喜多壯一郎君
原口　純允君　船田　中君
信正　義雄君　星島　二郎君
本多　市郎君　山口喜久一郎君
正木　清君　山崎　常吉君

鹽專賣法中改正法律案（政府提出）外一件委員

赤松　寅七君　大石　齊治君
大橋淸太郎君　大村　直君
片山　一男君　佐久間道夫君

崎山　嗣朝君　田村　秀吉君
田村　稔君　西川　貞一君
深澤　吉平君　池田正之輔君
小野　秀一君　永山　忠則君
松浦　伊平君　池本甚四郎君
岡本傳之助君　川俣　清音君

一、昨十日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ

第四部選出

豫算委員　阿子島俊治君（田中貢君補闕）

第六部選出

豫算委員　池本甚四郎君（木村武雄君補闕）

第七部選出

懲罰委員　佐々井一晁君（濱田尙友君補闕）

一、昨十日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

農地調整法中改正法律案（政府提出）委員

（辭任）河盛安之介君　（補缺）牧原源一郎君

○議長（島田俊雄君）　是ヨリ會議ヲ開キマス

○長野高一君　議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此ノ際上田孝吉君外十二名提出在外同胞救援ニ關スル決議案ヲ議題トナシ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君）　長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君）　御異議ナシト認メマス、政府ハ此ノ議事日程變更ニ同意セラレマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、在外同胞救援ニ關スル決議案ヲ議題ト致シマス、其ノ趣旨辯明ヲ許シマス——賛成者喜多壯一郎君

——◇——

在外同胞救援ニ關スル決議案（上田孝吉君外十二名提出）

在外同胞救援ニ關スル決議案

在外同胞救援ニ關スル決議

終戰以來既ニ五閱月在外同胞竝ニ復員將兵七百數十萬人ノ中故國ニ歸還シ得タル者極メテ寥々タリ其ノ大多數ハ今猶アジア大陸及太平洋上ノ島嶼ニ在リテ忍ヒ難キ敗戰屈辱ノ精神的打擊ト慘憺タル生活上ノ窮乏迫害ニ堪ヘ日夜遙ニ想ヲ家鄕ニ寄セツツアルノ狀寔ニ想察ニ餘リアリ

殊ニ滿洲北鮮樺太等ニ在ル同胞ノ運命ニ至リテハ其ノ安否ヲ審ニスルニ由ナキモ內外ノ情報ヲ綜合推斷スルニ該地域ニ殘留スル同胞ノ多數ハ概ネ飢餓ト凍死ニ瀕シ其ノ慘狀言語ニ絕スルノ境遇ニ在ルモノノ如シ

而モ政府ハ情報入手ノ困難ト救援交涉ノ途ナキヲ理由トシテ荏苒日ヲ送リツツアリ斯ノ如クニシテ空シク推移セムカ季既ニ冱寒ヲ迎ヘテ朔北殘留同胞ノ運命ヤ知ルヘキノミ茲ニ衆議院ハ院議ヲ以テ在外同胞救援ニ關シ人道的見地ヨリ汎ク世界ノ公正ナル批判ニ愬フルト共ニ政府ヲシテ速ニ同胞ノ救援ト歸還ノ方途ヲ講セシメムコトヲ期ス

右決議ス

〔喜多壯一郎君登壇〕

○喜多壯一郎君　只今上程セラレマシタ衆議院各派共同提案ニ依ル在外同胞救援ニ關スル決議案ノ提案理由ヲ說明致シマス、先ヅ案文ヲ朗讀致シマス

〔在外同胞救援ニ關スル決議〕

終戰以來既ニ五閱月在外同胞竝ニ復員將兵七百數十萬人ノ中故國ニ歸還シ得タル者極メテ寥々タリ其ノ大多數ハ今猶アジア大陸及太平洋上ノ島嶼ニ在リテ忍ヒ難キ敗戰屈辱ノ精神的打擊ト慘憺タル生活上ノ窮乏迫害ニ堪ヘ日夜遙ニ想ヲ家鄕ニ寄セツツアルノ狀寔ニ想察ニ餘リアリ

殊ニ滿洲北鮮樺太等ニ在ル同胞ノ運命ニ至リテハ其ノ安否ヲ審ニスルニ由ナキモ內外ノ情報ヲ綜合推斷スルニ該地域ニ殘留スル同胞ノ多數ハ概ネ飢餓ト凍死ニ瀕シ其ノ慘狀言語ニ絕スルノ境遇ニ在ルモノノ如シ

而モ政府ハ情報入手ノ困難ト救援交涉ノ途ナキヲ理由トシテ荏苒日ヲ送リツツアリ斯ノ如クニシテ空シク推移セムカ季既ニ冱寒ヲ迎ヘテ朔北殘留同胞ノ運命ヤ知ルヘキノミ茲ニ衆議院ハ院議ヲ以テ在外同胞救援ニ關シ人道的見地ヨリ汎ク世界ノ公正ナル批判ニ愬フルト共ニ政府ヲシテ速ニ同胞ノ救援ト歸還ノ方途ヲ講セシメムコトヲ期ス

右決議ス

〔拍手起ル〕

帝國議會開カレテ茲ニ八十九回、其ノ間議會デハ幾多ノ決議案ガ議決セラレタデアリマセウガ、本決議案ノ如ク悲痛極マル決議案其ノモノハ未ダ曾テナカツタト吾々ハ斷言致シマス（拍手）如何ニ戰ニ敗レタトハ言ヒナガラ、我々ノ悲懷實ニ限リナキモノガアルト申上ケナケレバナリマセヌ、吾々ハ茲ニ在外同胞諸君ト未ダ歸還シ得ザル復員兵士諸君トガ、一日モ早ク祖國日本ニ恙ナク歸ラレンコトヲ衷心カラ祈願シテ已ミマセヌ（拍手）今、日本ノ祖國デハ親子、妻子、兄弟、姉妹達ガ、一刻モ早ク家ニ歸ツテ來テ欲シイト日夜待チ焦レテ居ル在外同胞諸君、未ダ復員セザル、歸還セザル復員兵士諸君ハ、其ノ數實ニ七百數十萬デアリマス、而モ其ノ人々ハ遠ク「インド」大陸ニ、支那大陸ニ、又ハ不便極マル太平洋上ノ島々ニ居ルノミカ、曾テハ一衣帶水、ホンノ僅カナ隔リデアリマシタガ、今マデハ既ニ遠キ感アル滿洲、北鮮、樺太等ノ廣イ範圍ニ亙ツテ散在致シテ居ルノデアリマス、終戰後既ニ五箇月ニ垂ントスルニモ拘ラズ、是等ノ人々ニ付テハ其ノ生死ハ無論ノコト、安危サヘモ十分詳シク知ルコトガ出來ナイノミカ、恐ラク是等ノ諸君ハ敗戰的ナ絕望感ト、深刻ナル精神的打擊ヲ受ケテ、果シテ其ノ生死ノ程モ危ブマレルノデアリマス、加フルニ、是等ノ諸君ハ食フニ食ナク、着ルニ衣類ナク、住ムニ家ト安住ノ地モアリマセ

ヌ、其ノ上ニ所ニ依ッテハ絶エザル迫害ト、怖ルベキ非人道的ナ暴行掠奪ノ下、更ニ峻烈ナル自然ノ脅威トニ晝夜間斷ナク曝サレテ、怖レ戰イテ居ルデアラウト想察シ來ル時ニ、是等諸君ノ脅怖ト窮乏ニ付テハ、我々ハ此ノ壇上カラ國民諸君ニ愬ヘル言葉スラモ發見シ得ナイノデアリマス（拍手）此ノコトハ單ニ人間ガ生活ノ窮乏ノドン底ニ陷ッテ居ルト云フ其ノコトダケデハナイ、寧ロ人間トシテノ生存サヘモ奪ハレツヽアルノダ[illegible]云フコトハ、敢テ過言デハナイト信ジテ疑ヒマセヌ（拍手）是ハ一言ニシテ言ヘバ、生キナガラノ焦熱地獄ダト解釋セザルヲ得ナイ、其ノ生キナガラノ焦熱地獄ノ中ニ居ル是等ノ諸君ハ出征以來幾年、或ハ祖國日本ヲ出テ、海外雄飛ノ志ヲ抱イタ諸君トシテ既ニ年久シイ人モアルダラウ、相別レテ幾年、聲ナク、便リナクシテ別レタ儘ノ父ノ姿、子ノ姿トシテ、故國ニ待ツ人々ノ瞼ニ私ハ當然映ッテ居ルノダト考ヘザルヲ得ナイ、隨テ巷ニハ「父ヲ返セ」、「子ヲ戻セ」ト云フ聲ガ渦卷イテ居ルコトヲ政府當局ハ耳ヲ開イテ聽カナケレバナリマセヌ（拍手）其ノ慘狀十二分ノ情報モ入手シ得マセヌカラ、此ノ壇上デソレ等ニ付イ[illegible]語ルコトハ省略致シマスガ、兎ニ角在外同胞諸君ト、マダ歸ラヌ復員兵士諸君ノ現狀ハ、實ニ敗戰ニ依ル民族ノ一大悲劇デアルト我々ハ信ジマス（拍手）同時ニ世界人類ノ大キナ悲哀デナケレバナラナイト我々ハ世界ニ愬ヘタイノデアリ[illegible]ス（拍手）此ノ悲劇、此ノ大キナ悲哀ハ一刻モ早ク之ヲ取除カナケレバナリマセヌ、取除クコト自體ガ取リモ直サズ我々ハ平和世界ヘノ近道ダト信ジテ疑ハナイノデアリマス

飜ッテ在外同胞救援ト未歸還復員兵士諸君トニ關スル帝國政府ノ態度ヲ見マスト、ソコニハ國民的憤激ヲ爆發セザルヲ得ナイコトガ多々アルト申上ゲタイ、無論終戰直後ノ前内閣モ亦現内閣、即チ幣原内閣モ此ノ在外同胞救援、未歸還復員兵士問題ニ付テハ努力モナスッタシ、現ニ大イニ努力スルト今議會中凡ユル機會ニ於テ、我々ハ承ッタ、併シ國民ハ、日本國民ハ此ノ程度ノ努力ニ對シテハ到底滿足シ得ナイノデアリマス（拍手）滿足シテ居ラヌドコロカ、寧ロ心ノ底ニハ聯合國最高司令部ノ「スピーディ」ナヤリ方ニ對スル帝國政府ノノロ〱トシタ非能率的ナ、而モ小心翼々タル、後手々々ト遲レガチナ、モウ一ツ附加ヘテ言ヘバ右顧左眄的ナ外交交渉ニ對シテハ千萬無量ノ憤激サヘ抑ヘ切レズニ居ルノデアリマス（拍手）特ニ聯合國、否全世界ニ向ッテ敗戰日本ノ力ナキ現狀ヲ、寧ロ大膽率直ニ、赤裸々ニ披瀝シテ、以テ此ノ救援處理ニ對スル前途ニ光明ヲ齎スヤウナ人道的主張ヲ、帝國政府ハモット強ク儼然トシテナスベキダト我々ハ主張シタイ（拍手）然ルニ其ノコトガナサレツツアルト御考ヘデアラウト思フ、ナシテ居ルト云フ言明モナサレルデアラウガ、眞ノ民主主義日本建設ニ邁進シヨウトシテ居ル國民的感情ト、帝國政府ノ執ラレツヽアル速度トハ、全ク相容レヌモノガアルコトヲ、ハッキリ我々ハ此ノ決議案ヲ議スルニ當ッテ申上ゲテ置キタイ、ソレハ一ニ國民カラ游離シタ官僚的ナ、事務官的ナ外交處置ノミニ囚ハレテ居ルカラダト我々ハ更ニ聲ヲ大ニシテ國民ノ立場カラ現内閣ニ對シテ警告ヲ發セザルヲ得ナイノデアリマス

諸君、我々日本人ハ未ダ曾テナイ苦悶ト徹底的ナ反省トヲ強ヒラレテ居リマス、ダガ日本ノ歴史上ニ見ザル今日ノ日本國民ガ背負ッテ居ル苦悶ト反省トカラ、シイ民主主義日本ノ建設ガ出發シテ行クノデアリマス、同時ニ、世界モ亦今苦悶ト反省ノ裡ニ新シイ平和ノ建設ニ邁進シテ居ルノデアリマス、此ノ苦悶ト反省ハ世界ヲ通ジテ軈テ平和ト自由ト博愛トヲ生ムデアラウト我々ハ信ジテ疑ハナイ、是レコソ人道主義世界ノ復活トナルノデアリマス、而モ人道主義コソ民主主義ノ基盤デアリ、土臺デアッテ、人道主義ナクシテ、何ノ民主主義ゾヤト私ハ世界ニ向ッテ主張セザルヲ得ナイ（拍手）戰爭ノ罪惡ト禍ヒノ激シサニ對シテ、深刻且ツ痛烈ナ反省ヲ徹底的ニ行ヒ、サウシテ「ポッダム」宣言ノ完全遂行ニ對シテハ、民族ヲ擧ゲテ、國民ヲ擧ゲテ、飽クマデ眞實デナケレバナラヌト信ジマス、併シ人道ノ立場カラ正シイ道理ハ強ク堅持スベキデアリマス、之ニ依ッテ主張スベキハ主張シ、從フベキハ從ヒ、而モ謙虚ナル態度ヲ以テ世界ノ公正ナル道義ト批判トニ愬フベキガ、今日ノ日本帝國ノ態度デナケレバナラヌト我々ハ斷言致シマス（拍手）斯ク[illegible]テ在外同胞救援問題ノ處理モ當然本筋ニ乘ルモノデアルト云フコトヲ深ク信ジテ居リマス

衆議院ハ曩ニ海外同胞救濟ニ關シテ、島田議長ヲ委員長トシ、全議員諸君ヲ委員トシテ、海外同胞救濟委員會ヲ組織致シマシタ、此ノ委員會ハ國民ノ心ヲ心トシ、國民ノ感情ヲ感情トシテ、海外同胞救濟ニ付テ、聯合國最高司令部ニ島田議長ハ態々我々ノ申入ヲナスッタノデアリマス、是レ亦當時ノ帝國政府ノ在外同胞救濟ニ對スル生溫イ態度ニ慊ラナカッタカラデアルト言ハザルヲ得マセヌ、今本議會ニ於キマシテ再ビ本決議案ヲ院議ヲ以テ議決セントスル所以ノモノハ、一ニ國民ノ眞情ヲ吐露シテ、政府ヲ鞭撻シ、急速且ツ完全ナル在外同胞救濟問題ノ解決ヲ希望スルガ爲メデアリマス、政府ハ宜シク本決議案ノ意ノアル所ヲ把握セラレテ、勇敢ニ善處シナケレバナラヌコトモ附加ヘテ置キマス、ト同時ニ我々ハ本決議案ヲ通ジテ、人道的見地カラ汎ク世界ノ公正ナル批判ニ愬ヘントスルノデアリマスカラ、聯合國ハ勿論ノコト、世界各國ノ赤十字、其ノ他凡ユル權威アル平和團體、宗教團體等ガ、我々ガ處理スベキ在外同胞救濟處理ニ關シテ、擧ッテ理解ト同情トヲ以テ支援セラレンコトヲ、衆議院ハ國民代表トシテ冀ッテ已マヌモノデアリマス、以上概括的ニ本決議案提出ノ理由ヲ申述ベマシタ、滿場ノ諸君ノ御贊成ヲ願フ次第デアリマス（拍手）

○議長（島田俊雄君）　討論ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス――楠美省吾君

〔楠美省吾君登壇〕

○楠美省吾君　私ハ日本進歩黨ヲ代表シマシテ、本決議案ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス

國敗レテ山河アリ、他國ノ言葉トシテノミ聞イタ此ノ句ガ、我々ノ現實トシテ今體驗シツヽアリ、殊ニ在外同胞ガ飢エト寒サニ震ヘツヽ、アル有樣ヲ想像致シ、斷腸ノ思ヒデアリマス、八月十五日、終戰ノ御詔勅ヲ承リ、敗戰後在外同胞ガ被ルデアラウ大犧牲ヲ偲ビ、私ハ外聞モ憚ラズ男泣キニ慟哭致シタノデアリマス、其ノ想像以上ニ外地、特ニ滿洲、北鮮、樺太等ノ同胞ハ言語ニ絶スル慘憺タル狀態ニ陷ッテ居ルノデアリマス、脱出者ノ言ニ依レバ、夫ヤ父ノ前デ妻ヤ娘ハ暴行サレ、掠奪、強盜、其ノ限リヲ盡シ、自殺スル婦人ハ續出シテ居ル現狀デアリマス、夫ヲ殘シテ脱出ノ途中、三人ノ子供ノ中二人ハ病氣ノ爲ニ危篤トナリ、其ノ二人ノ子供ヲ犧牲ニ殘シテ、一人ノ子ヲ連レテ内地ニ引揚ゲタ婦人、又

飢エト病弱ノ爲ニ歩ケナイヤウニナッタ子供ト當人、緣モユカリモナイ旅行先ニ於テ、其ノ子ト運命ヲ共ニシテ斃レテ行ッタ婦人、聞クモ哀レナ話バカリデ、算ヘ擧グレバ枚擧ニ遑ガナイノデアリマス、此ノ世ノ生キ地獄ガ展開サレテ居ルノデアリマス、以上ノ慘狀ニ比較シテ、中南支方面ハ蔣介石主席ガ終戰ニ當リ、暴ニ報ユルニ暴ヲ以テセズ、日本人ニ危害ヲ加ヘル者ハ嚴罰ニ處スト布告ヲ出シタ、例外ヲ除イテハ平穩ニ暮シテ居ルノデアリマシテ、私ハ蔣主席ニ對シテ滿腔ノ敬意ヲ捧ゲテ居ル者ノ一人デアリマス、抑々我ガ邦人ノ海外發展ハ斷ジテ軍國主義ニ依ルモノデナイノデアリマス、私ノ乏シイ滿洲ニ於ケル體驗ヲ以テシテモ、我々ハ治安治マラズ、秩序ノ紊レタ彼ノ地ニ渡リ、生命ヲ捧ゲテ貢獻致シタノデアリマス、殊ニ開拓民ナドハ住ミ馴レタ家鄕ヲ後ニ、肉親ト袂ヲ別ッテ不毛ノ地ヲ拓キ、北滿ノ大自然ト鬪ッテ建設致シ、滿洲農民ニハ新シキ農法ヲ敎ヘ、種子ヲ分チ、民生ノ安定ニ寄與致シ、著々ト其ノ實績ヲ擧ゲテ居ッタノデアリマス

　今ヤ終戰ニ依リ農地ハ奪ハレ慘憺タル塗炭ノ苦シミニアルノデアリマス、然ルニ政府ハ同胞ノ斯ウシタ情報スラ國家トシテ取リ得ズ、荏苒日ヲ送ッテ居ル狀態デアリマス、曩ニ在外同胞救援會ヲ作ッテモ、其ノ豫算スラ未ダ決定シ見ナイノデアリマス、此ノ終戰ニ依リ最モ悲慘ナ目ニ遭ヒ、多年海外ニ在リテ一切ノ財產ヲ奪ヒ取ラレ、裸一貫歸還スル同胞ニ對シテ、洵ニ熱ノ足ラヌモノガアルト存ズルノデアリマス、世界ノ人道的見地ヨリ聯合國司令部ヲ通ジ、或ハ國際宗教團體、萬國赤十字社等ニ愬ヘテ、速カニ送金通信ノ途ヲ拓キ、救濟ノ具體的ナル方途ヲ進メラレンコトヲ切望シテ已マナイノデアリマス

　曩ニ衆議院ハ全員ヲ以テ海外同胞救濟委員會ヲ作リ、政府ヲ鞭撻シ、更ニ聯合國司令部ヘ懇請スル所アッタノデアリマスルガ、今回改メテ院議ヲ以テ本決議案ヲ提出スルノデアリマス、以上ヲ以テ私ノ本決議案ニ贊成スル理由ト致シマス（拍手）

○議長（島田俊雄君）　是ニテ討論ハ終局致シマシタ、採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○議長（島田俊雄君）　起立總員、仍テ本案ハ全會一致可決致シマシタ、此ノ際外務大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス――吉田外務大臣

〔國務大臣吉田茂君登壇〕

○國務大臣（吉田茂君）　只今在外同胞救援ニ關シマシテ御決議及ビ最モ熱誠ナル各位ノ御演說ヲ拜聽シマシテ篤ト御趣意ハ諒承致シマシタ、又聯合國政府、其ノ他ニ於テモ今回ノ御決議及ビ御演說ノ趣意ハ十分諒承スルコトト考ヘマス、又在外同胞諸君ニ於カレテモ、此ノ御決議及ビ御演說ノ趣意ヲ承知セラレタナラバ、此ノ多大ナル同情熱誠ニ對シテ在外同胞諸君ハ、非常ナ感激ト感謝ノ念ニ燃ユルコトト存ジマス、又當局ト致シマシテハ、是マデ終戰以來全力ヲ盡シテ在外同胞ノ引揚救援ニ付テハ、十分努力致シテ居リマシタ積リデアリマシタガ、併シナガラ不幸ニシテ御期待ニ副フダケノ實績ヲ擧ゲ得ナカッタコトハ洵ニ殘念ニ存ジマス、併シナガラ只今御決議ノ趣意及ビ各位ノ御演說ノ御趣意ヲ體シマシテ、今後ニ於テ益々全力ヲ盡シテ此ノ救援ノ事業ニ當ル決意デ居リマス、善處致ス考ヘデ居リマス（拍手）

○議長（島田俊雄君）　日程第一、昭和二十年勅令第五百四十二號（承諾ヲ求ムル件）ヲ議題ト致シマス――楢橋法制局長官

* * *

第一　昭和二十年勅令第五百四十二號（「ポツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件）（承諾ヲ求ムル件）（貴族院送付）

　昭和二十年勅令第五百四十二號

勅令第五百四十二號

政府ハ「ポツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ聯合國最高司令官ノ爲ス要求ニ係ル事項ヲ實施スル爲特ニ必要アル場合ニ於テハ命令ヲ以テ所要ノ定ヲ爲シ及必要ナル罰則ヲ設クルコトヲ得

　附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員楢橋渡君登壇〕

○政府委員（楢橋渡君）　只今上程セラレマシタ昭和二十年勅令第五百四十二號「ポツダム」宣言受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件ニ對シ、帝國議會ノ承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ御說明申上ゲマス

　本年九月二日調印ヲ終リマシタ降伏文書ニ依リマスレバ、爾後帝國政府ガ聯合國最高司令官ノ要求ニ從ヒマシテ、「ポツダム」宣言所定ノ事項實現ノ爲メ、必要ナル一切ノ措置ヲ執ルベキコトニ相成ッタノデアリマス、而シテ右最高司令官ノ要求ニ付キマシテハ、法制ノ上ニ於キマシテモ、必要ニ應ジ強制力ヲ行使シ得ルヤウ萬遺憾ナキ體勢ヲ整ヘルコトガ必要ト相成ッタノデアリマス、而モ最高司令官ヨリノ要求ノ處理ハ、御承知ノ通リ時ニ極メテ急速ヲ要スルコトガアリマスノデ、政府ハ帝國憲法第八條第一項ノ規定ニ基キ、本件勅令ノ制定ヲ仰ギ、聯合國最高司令官ノ發スル要求ニ係ル事項ヲ實現致ス爲メ、特ニ必要アル場合ニ於テハ、隨時命令ヲ以テ所要ノ事項ヲ規定スルコトヲ得ル旨ノ御定メヲ願ッタノデアリマス、何卒御審議ノ上速カニ承諾ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長（島田俊雄君）　質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス――清水留三郎君

〔清水留三郎君登壇〕

○清水留三郎君　私ハ只今議題トナリマシタ勅令第五百四十二號ニ付キマシテ、特ニ「ポツダム」宣言受諾ニ關スル各般ノ實情ニ付キマシテ、主トシテ總理大臣及ビ農林大臣ノ御答辯ヲ要求スル者デアリマス

　質疑ノ第一ハ外務省ヲ廢止致シマシテ、內閣直屬ノ一機關ヲ設クル意思ガ政府ニアルカドウカト云フ問題デアリマス、御承知ノ如ク「ゼネヴァ」ニ於ケル國際聯盟ヨリ日本ガ脫退致シマシテカラト云フモノハ、外交ハ全ク孤立ニ陷ッタノデアリマス、而モ大東亞戰爭ニ於キマシテ、日本ノ同盟國デアリマシタ所ノ「イタリア」ハ早ク同盟ヨリ脫退シ、「ドイツ」モ遂ニ屈服ノ已ムナキニ至ッタノデアリマス、共榮圈內ノ國國、滿洲國、中華民國、「タイ」國、「フィリッピン」國、或ハ其ノ他ノ國ニ於キマシテモ、終戰ト同時ニ日本トノ關係ハ全ク中絕致シマシテ、今日ハ何等ノ外交交涉ハ出來ナクナッテ居ルノデアリマス、又戰時中中立ヲ維持シテ居リマシタ「スイス」、「スエーデン」、「スペイン」、「ポルトガル」、「アフガニスタン」等ノ國々モ「マッカーサー」司令部ノ命令ニ依リマシテ、此ノ外交關係ハ絕滅シ、我ガ在外使臣等ハ是等ノ國ヨリ召還シナケレバナラナクナッタノデアリマス、外務省ノ任務ノ一番重大デアリマシタル是等ノ事務ガ外務省ノ手カラ離レタノデアリマス、今日殘ッテ居リマスノハ、只今議題トナッタ海外同胞ニ關スル問題トカ、涉外事務トカ

云フ僅カノ部面ニ限定サレテ居ルノデアリマス、此ノ場合今ノ外務省ヲ其ノ儘ニ存置シテ置ク必要ガアルカナイカト云フコトガ、民間ニ於テ相當喧シクナツテ居ルノデアリマス、或ハ內閣ノ一直屬機關ヲ設ケテ、外務省ニ殘サレテ居リマスル事柄ヲ擔任セシメテモ宜クハナイカト云フ意見ガ多イノデアリマス、政府ハ果シテドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルカ、或ハ政府ハ近ク行政整理ヲ斷行スルト言ハレマスガ、行政整理斷行ノ場合ニ於テ、外務省廢止ト云フ問題ヲ考慮スル餘地ガアルカドウカ、唯私共外務省ヲ廢シタ場合、若シ外交ガ復活シタ時ニ於テ、如何ナル惱ミヲ生ズルカト云フ問題モ、考慮シナケレバナラナイノデアリマス、日本ハ軍國主義ヲ淸算致シマシテ、國際協調ヲ保チ、而モ「デモクラシー」國家ヲ建設スルト云フコトニ付テハ、今日國民ノ上下殆ド一致シテ居ルノデアリマスガ、「ポツダム」宣言ニ依リマシテモ、日本ガ再ビ戰爭ヲ惹起スルヤウナ傾向ガ見エズシテ、眞ノ平和國家ガ建設サレタ場合ニ於テハ、日本ヨリ撤兵スルト云フヤウナコトモ規定サレテ居ルノデアリマス、私共ハ日本ノ國民ガ今日一致結集シテ、サウシテ平和國家ヲ建設シ、撤兵ノ一日モ速カナランコトヲ國民殆ド全部ガ要望シテ居ルト申シテモ差支ヘナイノデアリマス、其ノ場合ニ於テ、或ハ其ノ前後ニ於キマシテ、外交關係ハ復活サレルデアリマセウ、外交關係ガ復活シタ場合僅カノ費用ヲ節約スル爲ニ、外務省ヲ廢止シテ居ツテ、其ノ時ニ再ビ外交ヲヤルト云フコトデ、幾多ノ不利不便ヲ感ズル場合ガナイトモ限リマセヌ、斯ウ云フ場合モ考慮シテ、外務省廢止ト云フ問題ニ付テハ、愼重ナル考慮ヲ政府ニ御願ヒ致シタイノデアリマスルガ、行政整理ノ曉ニ於テ之ヲ斷行スルカドウカ、先ヅ此ノ點ヲ私ハ第一ニ總理大臣ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス

第二ハ戰時中大本營ノ發表致シマシタ戰況報告中ニ、虛僞誇大ノモノハナカツタカ此ノ點デアリマス、曾テ米機ガ群馬縣ノ太田ノ中島飛行工場ヲ空襲シタ時ノコトデゴザイマシタ、附近ノ人ノ實際ノ調ベニ依リマスルト、墜落シタ「ビー」二九ハ三機ト云フノデゴザイマシタ、ソレ以上ハ如何ニシテモ何處ニ落チタカト云フコトハ分ラナカツタトノコトデアリマス、然ルニ大本營ノ發表ニ依レバ二十數機墜落シタト云フコトヲ發表シテ居ルノデアリマス、其ノ際私ハ或ル關係者カラ「アメリカ」ノ放送ヲ聽イタト云フ話ヲ聞イタノデアル、「アメリカ」ノ發表ニ依リマスレバ、墜落未歸還五機ト云フコトヲ發表サレテ居ツタノデアリマス、實際見タノハ三機デアル、所ガ「アメリカ」ノ發表ハ五機デアル、日本ノ大本營發表ハ二十數機デアル、ドチラガ正シイカ、其ノ時ヨリ私共ハドウモ大本營發表ト云フモノニ付テハ、何カノ掛引ガアルノデハナイカト云フ風ニ感ジタノデアリマス、私ハ軍部ノ或ル人ニ對シ此ノコトヲ尋ネマシタ、サウスルト、例ヘテ見レバ一ツノ米機ヲ數機ノ日本機デ墜落セシメタ、其ノ場合ニ於テ墜落セシメタ飛行家ハ各〻一機ヅヽ落シタト云フ、所ガ五、六機寄ツテ一機落シタノデアルカラ、計算上或ハ五、六機ニ計算スル場合ガアルカモ知レナイ、故ニサウ云フヤウナコトハ出來ルダケ嚴重ニ調ベテ居ルガ、多少ノ誤リハナキニシモアラズト云フコトヲ言ハレタコトガコザイマシタガ、兩三日前「アメリカ」ノ發表致シマシタ或ハ「アリユーシヤン」ノ海戰、珊瑚海ノ海戰、是等ノ事實ト、從來アノ當時政府ノ發表シタ、大本營ノ發表シタル所ノ數ト非常ナル相違ガアルト云フコトヲ私共ハ見テ居ルノデアリマス、所謂大本營ノ發表シタコトニ果シテ虛僞、誇大ナルモノハナカツタカ、又政府ノ、殊ニ大本營ノ樂觀的ノ報道、是ガ如何ニ戰爭ヲ不利ニ招イタカト云フコトヲ私共ハ痛切ニ感ズルノ[illegible]アリマス、而モ當時ニ於ケル言論ノ壓迫ハ甚ダシキモノガゴザイマシテ、例ヘテ見レバ「アメリカ」ノ眞相ヲ說ケバ、彼ハ親米論者ナリト云ツテ排擊シ、悲觀論ヲ唱ヘレバ、厭戰思想ナリト言ツテ迫害ヲ加ヘタノデアリマス、私自身ノコトヲ申シテ洵ニ恐縮デハアリマスルガ、或ル時斯ウ云フコトガゴザイマシタ、ソレハ一般ニドウモ「アメリカ」ニハ各種ノ人種ガ入込ンデ居ル、或ハ「ドイツ」人ノ子孫、「イタリア」人ノ子孫、日本人ノ子孫等ガアル、又「アメリカ」ハ一億三千六百萬ノ人口中、千二、三百萬ト云フモノハ「ニグロ」デアル、是等異人種ノ集合體ノ「アメリカ」デアルカラ、戰爭ニナルト內輪ハ治マラヌ、國內ハ紛糾ヲスル、日本ガ長ク頑張ツテ居ルナラバ、キツト「アメリカ」ノ國內事情ニ於テ日本ハ勝テルト云フコトガ盛ンニ宣傳サレテ居ツタノデアリマス、私ハ或ル懇談會ノ席上ニ於テ、ソレハ大イナル誤リデアル、「アメリカ」ト云フモノハ、各國人種ノ集合體デハゴザイマスルガ、之ヲ「アメリカナイズ」スル、「アメリカ」化スルト云フコトニ於テハ確カニ成功シテ居ル、現ニ丁度戰ヒノ前夜デゴザイマシタ、所謂昭和十六年ノ議會終了ノ直後デアリマシタ、私ハ山道襄一代議士ト二人シテ、此ノ險惡ナル所ノ日米ノ空氣、之ヲ何トカ融和シタイモノダト云フ風ノ考ヘカラ「ハワイ」カラ「アメリカ」ニ參リマシタ所ガ、山道君ガ「ニユーオルリアンス」ニ於テ客死サレマシタノデ、不幸中途ニシテ遺骸ヲ携ヘテ私ハ歸朝シタノデアリマス、其ノ後デゴザイマシタガ、高見之通君ガヤハリ宗敎家ヲ連レマシテ、サウシテ日米親善ノ爲ニ「アメリカ」ヲ旅行セラレタノデアリマス、世間デハ動トモスルト、議會人ハ軍部官僚ニ迎合シテ、戰爭ヲ誘發シタ責任ガアルカノ如ク言ツテ居ル者モアリマスルガ、併シ議會人ノ大多數ト云フモノハ、其ノ當時如何ニシテ戰爭ヲ惹起セシメナイデ、サウシテ平和的ニ、日米關係ヲ圓滑ニシヨウト云フコトニ苦心シテ居ツタ者ガ多カツタノデアリマス、偶〻「ハワイ」ニ於キマシテ多クノ二世トノ懇談會ヲ開キマシタ其ノ席上、私ハ二世ノ主ナル人々ニ對シマシテ、若シ不幸ニシテ日米衝突スルヤウナコトガアツタ場合ニ於テハ、諸君ハ日本ノ勝ツコトヲ希望スルカ、「アメリカ」ノ勝ツコトヲ希望スルカト云フコトヲ、露骨ニ質問致シマシタ、サウ致シマスト日本ニ歸ツタコトノアリマス二、三人ノ人ハサウデゴザイマセヌデシタガ、日本ニ歸ラザリシ大部分ノ二世ノ方々ハ、自分達ノ兩親ハ日本デ生レ、日本デ育ツテ日本ノ恩顧ヲ受ケテ居ル、併シ自分達ハ「アメリカ」デ生レ、「アメリカ」デ育チ、「アメリカ」デ敎育ヲ受ケタ、將來モ日本ニ歸ツテ住マウト云フ觀念ハ毛頭ナイ、「アメリカ」ハ自分ノ家デアル、自分達ハ純然タル「アメリカ」ノ市民デアル、故ニ日米戰爭ノ曉ニハ我々ハ「アメリカ」ノ勝ツコトヲ希望シテ居ル、私共ハ喜ンデ「アメリカ」ノ兵隊ニナル、兵役ノ義務ヲ行フ、之ヲ「アメリカ」ヲ勝タシメンガ爲ニ希望シテ居ルト言ツテ居ル、最近種々ナル情報カラ聞キマスト、此ノ間ノ「ヨーロッパ」ノ戰爭ニ於キマシテ「アメリカ」ニ於ケル日本ノ二世ガ、二世軍ヲ組織致シマシテ、「イタリア」カ

ラ「ドイツ」ニ參ッタ、而モ能ク戰ッタ、アノ普通ノ「アメリカ」ノ兵隊以上ニ戰ツタト云フノデ、今日「アメリカ」ノ内地ニ於テ日本ノ二世ガ非常ニモテテ居ルト云フ話ヲ聞イテ居ル、所謂日本人スラ然リデアル、故ニ「アメリカ」ガ國内ニ於テ、内輪ニ於テ紛糾ヲ生ズルヤウナコトハアルマイト云フコトヲ、私或ル所デ申上ゲルト、直チニ私ニ向ッテ壓迫ガ加ハリ、ソレノミナラズ、私ノ郷里ニ居リマス實兄ヲ警察ハ拉致シマシテ、十數日留メ置イタ、オ前ノ弟ハ郷里ヘ歸レバオ前ノ家ニ泊マルデアラウ、何カ弟カラ聞イタコトハアリハシナイカト云フコトデ、凡ユル壓迫ヲ加ヘマシタガ、幸ヒ私モ話シタコトモナケレバ、兄モ聞イテ居ラヌト云フコトデ助カリマシタ、サウ云フ風ニ所謂眞實ヲ話サウト思ヘバ、直チニ是ガ抑留サレタト云フ風ナ狀態デアリマス、所謂政府ガ樂觀的ノ報道ノミヤッテ居ル、是ガ日本ガ緊張シナカッタ最大ノ原因ト思ヒマス、「アメリカ」ニ於テハ「グルー」駐日大使ガ日本カラ歸リマスト、日本民族ノ優秀ナルコト、日本人ハ敵トシテ恐ルベキモノナリト云フコトヲ言ハレテ、サウシテ「アメリカ」ノ輿論ニ愬ヘテ「アメリカ」國民ヲシテ眞劍味ヲ帶ビサセシメタ、然ルニ日本ハ是ノ反對デゴザイマス、是等ノ最大原因ハ、政府ガ極力誇大ナル報道ヲシタ、日本國民ヲ樂觀的ニ導カシメタト云フコトガ最大ノ原因デアラウト存ジマスガ、所謂戰爭ニ日本ガ敗ケタト云フ原因ガ玆ニアルノデハナイカト思ヒマス、政府ノ是等ニ對スル御考ヘハドウデアルカ

　第三ニハ敗戰ヲ招イタ責任者ニ對シテ、政府ハ如何ナル處置ヲ講ゼントスルノデゴザイマスカ、戰爭ノ誘發者及ビ戰時法規ノ違反者、是ハ聯合國側ニ依ッテ處罰セラル、ノデアリマス、併シ敗戰ノ責任者ニ對シマシテハ、是ハ聯合國關係カラ官吏ノ指令ハアリマスマイ、併シ日本ノ國家ト致シマシテハ、是等敗戰ヲ招イタル責任者ニ對シテハ、此ノ儘ニシテ置クト、日本今後ノ狀態ガドウナルカ、私共ハ敗戰責任者ト云フモノノ中ニ於テハ、戰爭中ニ於テハ傍觀的態度ヲ執ッテ協力シナカッタ者デアリマシテ、戰爭中ニ於テ政府ノ命令シタル供出ヲ拒ンダトカ、物資ヲ死藏シテ居ッタトカ、今ニナッテ是等ヲ出シテ、或ハ暴利ヲ貪ッテ居ッタトカ、或ハ軍需工業等ニ於テ工場自身、所謂會社自身ハ損害ヲ蒙ッテ居リナガラ、其ノ重役ガ自ラ懷ロヲ肥シテ戰爭ヲ不利ニ陷ラシメタト云フ風ナモノ、是等所謂敗戰ノ責任者ト云フモノハ、是ハ國家トシテ十分調査ヲシテ、之ニ對スル或ル處置ヲ講ズルト云フコトガ必要デアルト思フ、斯ウ云フコトニ對シテ恐ラク聯合國側カラ別ニ制裁ハ來ルマイト思ヒマスガ、制裁ガ來タ時ハ仕方ガナイ、制裁ノ來ナイ間ハ、日本政府トシテハ當然是等敗戰責任者ト云フモノニ付テ、十分調査シテ置クコトガ今日必要デアッテ、之ヲ如何ニ處理スルカト云フコトニ付テ政府ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

　次ニ政府ハ「マッカーサー」司令部ト絶エズ連絡ヲ保ッテ居ルカドウカト云フ問題デアリマス、「アメリカ」ハ輿論ノ國デアリマス、「アメリカ」人ノ多クハ話セバ能ク分ル國民ナノデアリマス、輿論ノ國「アメリカ」ニ對シテハ、話セバ能ク分ル「アメリカ」人ニ對シテ、日本ハドウ云フ行動ヲ執ッテ居ルデゴザイマセウ、從來日本ノ官僚ノ一部ニ於テハ、動モスルト、一旦主張シタコトハ假令ソレガ非デアッテモ、ソレヲ何トカ我意ヲ通サウトシテ、正論ヲ退ケルト云フ傾向ガ隨分多イノデアリマス、所ガ「アメリカ」人ト云フモノハ、ソレガ惡イト知ルト改ムルニ何等憚ル所ノナイ國民性ノ國デアル、私共ハ別ニ躊躇スル必要ハアルマイト思フ、若シ「マッカーサー」司令部カラ、或ル司令ガ發セラレルト云フコトガ分ッタ場合ニ於テハ、事前ニ日本ノ國情ヲ說明シテ、其ノ諒解ヲ求ムルコトガ必要デアリマス、一タビ發セラレタ司令デアッテ、而モソレガ實際ニ副ハザル憾ミガアル場合ニ於テハ、其ノ善處方ヲ要望スルト云フコトモ亦當然デアリマス、無論「マッカーサー」司令部ノ指令ト云フモノハ絕對的デアル、是ハ我ガ法律ヲ超越シテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シテ阻止スル權能ハ現在日本ニ遺憾ナガラアリマセヌ、併シ「アメリカ」ノ國民性ニ愬ヘ、「アメリカ」ノ輿論ニ愬ヘテ、若シソレガ日本ノ國情ニ副ハザル時ニハ、日本ノ要望ヲ正々堂々ト主張スルコトガ、寧ロ「アメリカ」ヲシテ誤ラシメザル所以、又日本ノ國ヲ維持スル所以ニナルノデアリマス、是等ニ對シテ政府ハ遺憾ナキ行動ヲ執ラレテ居ルカドウカ、今マデハ動トモスルト、敗戰ノ爲メ已ムヲ得ナカッタカモ知レマセヌガ、卑屈ニ流レテ居ル、日本ノ國情ト「アメリカ」ノ國情ヲ同樣ニ見テ、言フベキコトヲ躊躇シテ居ルト云フ傾向ナキニシモアラズデアリマス、議會ニ於テモ我々議員ト致シマシテ、國民ノ代表者トシテ言フベキコトハドシ〳〵言フコトガ必要デアルト思フ、之ヲ餘リ考慮スルコトハ、却テ彼我國交上ニ不利益ヲ釀ス所以デアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ於テハ大膽率直ニ、政府ハ「マッカーサー」司令部ニ對シテ要望スルコトガ必要ダト思ヒマス、是等ニ對シテ政府ハ遺憾ナキヲ期シテ居ルカドウカ、尙ホソレ等ノ內容、其ノ他ニ付テハ、委員會ニ於テ質疑ヲ致シタイノデアリマスガ、此ノ席上ニ於テ其ノ概念ダケヲ承ッテ置キタイノデアリマス

　第五ニ私ハ農林大臣ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス、米其ノ他ノ輸入ヲ許可セラレマシタ聯合國側ノ好意ニ對シマシテハ、國民ト致シテ衷心ヨリ感謝シテ居ルノデアリマス、今日婦人ニ參政權ガ許サレタ、併シ多クノ婦人ハ何ト言ッテ居ルカ、參政ノ權利ヲ得ルヨリハ、米ヲ一勺デモ宜イガ増配シテ貰ヒタイ、是ガ今日日本國民一般婦人ノ叫ビデハアリマセヌカ、飢餓線上ニアル我ガ國食糧ノ問題、是ガ實際國民ノ死活問題ニナッテ居ルノデアリマス、「アメリカ」ノ輸入許可、是ハ私共實ニ有難ク思フ、併シ其ノ輸入ニシテ遲延センカ、若シ時期ガ遲レンカ、日本ハ一體ドウナルデアリマセウカ、問題ハイツ輸入セラレルカ、イツ米其ノ他ガ内地ニ到來スルカト云フ問題ニ歸スルノデアリマス、「ヨーロッパ」ニ於テ、或ハ「ドイツ」ニ於テ、「フランス」ニ於テ「バルカン」ノ國々ニ於テ、「イタリア」ノ如キハ、米英軍ニ依ッテ救濟サレタ、「フランス」モ同樣デアル、「バルカン」ノ國々モ同樣デアル、所ガ其ノ「イタリア」ハドウデアッタカ、米英ガ高遠ナル「デモクラシー」ニ依ッテ「イタリア」ヲ感化セシメントシタ、併シ「イタリア」國民ノ生活ハドン底ニ陷ッテ居ッタ、之ニ偶々手ヲ染メタノハ「ソ」聯デアル、「ソ」聯ハ生活問題ヲ中心トシタ、其ノ結果今日「イタリア」ニ於テハ如何ナル內閣ガ組織セラレヤウトモ、共産黨員ヲ無視シテハ組織出來ヌヤウニナッテシマッタ、「フランス」ニ於テハ、「フランス」ト「ソ」聯ガ同盟條約ヲ結バナケレバナラナクナッタト云フ理由ハ、何處ニ存在シテ居ルカ、「バルカン」ノ國々ニ於テモ「チャー

チル」「スターリン」、此ノ兩巨頭ノ會談ニ於テ「ルーマニア」「ブルガリヤ」ハ「ソ」聯ノ勢力圈タラシメ、「ユーゴスラヴィア」ハ「ソ」聯ト「イギリス」ノ共同管理タラシメ、「ギリシャ」ハ「イギリス」ノ勢力範圍タラシムルト云フ協定ガ、出來タト云フ說ヲ聞イテ居リマシタガ、今日是等「バルカン」方面ハドウカ、殆ド「ソ」聯ノ勢力ガ滲透シテ居ルデハアリマセヌカ、若シ日本ニ於テ「アメリカ」ガ特ニ「デモクラシー」ノ高遠ナル理想ヲ我々ニ注入シテ呉レテ居ル、日本ガ軍國主義ヲ淸算シ「デモクラシー」國家ヲ作ルト云フコトニ付テハ、私共「アメリカ」ノ好意ヲ多トシテ居リマス、併シソレト同時ニ日本ノ生活ノ直接問題デアル米ナドノ輸入ノ到來ガ遲カッタ場合ニ於テ、動トモスルト「ソ」聯ノ勢力ガ、日本ニドシ〳〵入ッテ來ルノデハナイカ、現ニ樺太ニ於ケル實情ヲ我々ハ新聞デ見マシタガ、樺太ニ於テ初メハ隨分悲慘ナル狀態デアッタト云フガ、先日ノ新聞ニ依リマスト、樺太ニ於ケル內地人ヲ悉ク勞働ニ服セシメタ、併シ勞働ニ服シテ居ル者ニ對シテハ「ウラヂオ」カラ或ル一部ノ米ヲ輸入シテ、サウシテ是等ノ生活ヲ援助シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、若シ日本ノ生活上ニ於テ更ニ〳〵危機ガ來タ場合ニ於テハ、折角「アメリカ」ノ好意ト云フモノモ無ニナッテ、却テ日本ガ「ソ」聯ノ勢力圈內ニ入

ニ於テ、私ハ此ノ議會ヲ通ジテ「アメリカ」ノ輿論ニ愬ヘタイ、「アメリカ」全部ノ國民ニ愬ヘタイ、今日ノ日本ノ一番ノ問題ハ、生活ノ問題死ヌカ活キルカノ問題デアル、此ノ場合ニ於テ「アメリカ」ノ輿論ガ日本ヲ救フ爲ニ一日モ早ク米ノ到來スルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイ、無論米ヲ輸出スル國々ノ狀態モゴザイマセウ、船腹ノ關係モアリマセウ、中々思フヤウニハ行カヌト云フコトハ、私共ハ知ッテ居リマスガ、一日遲レヽバ一日ダケ國民ガ飢饉ニ陷ルノデアリマス、之ニ付キマシテ政府ハ無論現在ノ農林省トシテ分リマスマイ、是ハ向フノ事情如何ニ依ッテ決メルノデアル、我々ハ如何トモスルコトハ出來マセヌガ、セメテ農林省ノ豫想シテ居リマス何時頃米ガ日本ニ到來スルカ、之ニ付テモ多少ナリトモ農林省ガ觀察シ得ラレル點ガアリマスルナラバ、其ノ內容ニ付テ農林大臣カラ御說明ガ願ヒタイ、是ハ私ハ無理ハ申シマセヌ、向フノ關係デアル、日本ハ如何トモスルコトハ出來マセヌガ、併シ今農林省ガ大凡此ノ時分ニハ、此ノ位ノ米ハ入ルデアラウト云フヤウナ、若シ見込ガ付イテ居リマスルナラバ、其ノ見込ノ程度ニ付テ農林大臣ヨリ御說明ヲ願ヘレバ結構デアリマス

更ニ最後ニ私御尋ネ致シタイノハ、政府ハ農地調整法改正案、勞働組合法案ノ兩案ノ審議ガ終了スルマデ、議會

ト云フ問題デアリマス、十日「マッカーサー」司令部ハ、日本農民ヲ封建的不在地主ノ抑壓カラ解放セシムル爲メ、農地制度改革ノ要ヲ强制シタ指令ガ發セラレタト云フコトヲ、私ハ新聞ニ於テ今朝拜見シタノデアリマス、政府ノ農地ニ關スル法案ト「マッカーサー」司令部ガ政府ニ寄越シタ內容トノ間ニ於テ ソコニ何カ齟齬ガアルカドウカ、政府ノ議會ニ提出シタ案ト「マッカーサー」司令部ノ指令トノ間ニ何カ齟齬スル點ガアルカドウカ、若シ齟齬スル點ガアルト致シマシタナラバ、政府ハ其ノ法案ヲ一旦撤囘シテ、更ニ新シイ案ヲ此ノ議會ニ提出スル考ヘデアルカドウカ、若シ齟齬スル點ガナイ、政府ノ提出シタル案其ノモノデ宜イト致シマシタ場合ニ於テ、議會ガ若シ其ノ案ニ修正ヲ加ヘタト致シマシタナラバ――議會ハ議會ノ權能ニ於テヤルノデアリマスガ、議會ニ於テ之ヲ修正シタト云フ場合ニ於テハ、政府ハ如何ナル處置ヲ執ルノデゴザイマスカ、此ノ點ニ付テ私ハ最後ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス

私ノ質問ハ全六項デゴザイマスルガ、初メノ四項目ニ付テハ總理大臣ヨリ、後ノ二項目ニ對シテハ農林大臣ノ答辯ヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質疑ハ是デ終了致シタイノデアリマス（拍手）

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇〕

○國務大臣（男爵幣原喜重郎君）　只今

ガ大部分現ニ停止サレタノデアルカラ、外務省ヲ一省トシテ存置スル必要アリヤ否ヤト云フコトデアリマス、御話ノ通リ外交機能ハ現在大部分停止サレテ居リマス、併シ終戰連絡事務、海外同胞引揚事務、斯ウ言ッタヤウナ重要事務ガ山積致シテ居リマスル今日、之ヲ直チニ廢止シテ、內閣直屬ノ一機關トスルコトハマダ適當デナイト考ヘマス、且ツ外交機關ノ機能ノ停止ト云フコトハ必ズシモ永續的ノ事態ト思ハレマセヌ、他日其ノ機能ノ再ビ更ニ復活スル、其ノ復活ヲ列國ヨリ認メラレル時期ハ來ルモノト考ヘラレマス、其ノ時期ガ何時來ルカト云フコトハ、今日ヨリ豫想ハ出來マセヌケレドモ、一朝其ノ外交機能ノ復活ニ至リマシタ際ニ於キマシテ、外交事務ニ當ッテ堪能ナル者ハ急速ニ養成シ得ラレルモノデハアリマセヌ、我々ハ斯カル事態、來ルベキ事態ノ要求ヲモ考ヘテ、之ニ備ヘル所ガナケレバナリマセヌ、之ヲ思ヒマスト云フト、外務省ノ此ノ機構ハ急激ニ、且ツ徹底的ニ此ノ際縮小シ得ラレルモノトハ考ヘマセヌ、併シナガラ今日ノ事態ニ於テ若干ノ縮小ノ餘地ガアル、過剩人員ガ生ジ得ルノデアリマセウカラ、此ノ點ニ付キマシテハ行政整理ノ問題ト關聯シテ十分ニ考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

次ニ第二點ハ、大本營發表ノ眞僞ノ問題デアリマス、大本營ノ發表ニ付キ

相違スル所ガアッタヤウニ思ハレルモノガアリマスルケレドモ、其ノ發表ノ當時ニ於テ故ラニ虛僞誇大ノ事實ヲ宣傳スル、傳ヘルト云フヤウナ意思ニ出タモノトハ考ヘラレマセヌ

第三ニ、敗戰ノ責任ニ付テ政府ハ如何ニ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマス、戰爭ヲ開始シ、延イテハ敗戰ニ至ラシメタル責任ノ點ニ付キマシテハ、勿論其ノ事實ヲ究明シ、將來再ビ斯カル過チヲ繰返サナイヤウニ、十分ニ此ノ點ハ注意ヲ致シテ處置ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、先般政府ニ於キマシテ大東亞戰爭調査會ナルモノヲ設置致シマシタノモ、此ノ一端ニ資スル所ガアルト考ヘマス、他面戰爭責任者ト認メラレル人々ハ、既ニ輿論ニ依ッテ其ノ責任ヲ問ハレツヽアルノデアリマス、輿論ノ制裁ハ實際ニ於テ相當ニ深刻ナモノガアリマス、此ノ意味ニ於テ、此ノ責任ノ追究ト云フコトハ事實上或ル程度マデ行ハレテ居ルモノト見テ宜カラウト思ヒマス、其ノ以上、政府トシテ如何ナルコトヲスベキヤト云フコトニナリマスルト、戰爭ノ責任ノ嫌疑アル者ヲ法律的ニ査問シ、制裁ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ政策論トシテ愼重ニ考ヘナケレバナラヌ點ガ澤山アルノデアリマス、此ノ點ハ輕率ニ判斷シ得ラレナイモノト考ヘマス、能ク其ノ結果モ考ヘ、將來ニ於ケル利害得失モ考ヘテ決定致シタイト考ヘテ居リ

ソレカラ第四點ハ「マッカーサー」司令部トノ指令發布前ノ事前連絡ニ付テ、政府ハ如何ナルコトヲ致シテ居ルカト云フコトデアリマス、政府ト聯合軍司令部トノ連絡ノ内情ヲ申述ベマスルコトハ、今後其ノ連絡ノ圓滑ヲ期シマスル上ニ於テ、重大ナル影響ヲ及ボスノ虞ガアリマスルカラ、私トシテハ此ノ問題ニ對スル御答辯ハ差控ヘルノ外アリマセヌ、此ノ段ハ宜シク御諒承ヲ願ヒマス

〔國務大臣松村謙三君登壇〕

○國務大臣（松村謙三君）　御答ヘヲ申上ゲマス、輸入ノ要請ニ對スル將來ノ見透シノ御話デアリマスガ、清水君ノ御話ノ通リ、輸入許可ノ原則ニ付テハ同情アル許可ヲ得タノデゴザイマスガ、其ノ後ノ具體的ナ、何處カラドレ位入レルト云フ點ニ付キマシテハ、只今ノ所未ダ御報告申ス所マデニ參ッテ居リマセヌ、御話ノ通リ是ガ具體的ニ要請ガ許サレマスルナラバ、供出ハ其ノ爲ニ促進シ、國民ノ元氣ハ之ニ依ッテ囘復シテ、サウシテ新シイ日本ノ建設ニ邁進スルコトガ出來ルノデアリマシテ、私共モ日夜其ノ許シヲ得ルガ爲ニ苦心ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、私共ハ是レ以上ノコトハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、何トカシテ此ノ具體的ノ許シガ近クアルコトヲ期待シ、且ツ念願ヲ致シテ居ル者デゴザイマス

又昨日「マッカーサー」司令部カラアリマシタ農地改革ニ付テノ指示デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ司令部ノ指示ノ點ハ、御承知ノ通リ一九四六年、明年三月十五日マデニ左ノ諸計畫ヲ内容トスル農地改革案ヲ本司令部ニ提出スベシ、サウシテ其ノ内容ニアリマスノハ一、不在地主ヨリ耕作者ニ對スル土地所有權ノ移讓、是ガ一ツデゴザイマス、次ハ耕作セザル所有者ヨリ農地ヲ適正價格ヲ以テ買取ル制度、第三ハ小作者收入ニ相應セル年賦償還ニ依ル小作人ノ農地買取制度、此ノ三ツヲ指示シテ參ッテ居ルノデゴザイマス

此ノ三點トモ、今回政府ガ提案致シマシタ農地改革ノアノ法案ノ中ノ主眼ヲナシテ、全部アノ中ニ包容セラレテ居ル觀念デゴザイマシテ、此ノ指示トチットモ相悖ル所ナシト信ズル者デゴザイマス、隨ヒマシテ本案ヲ更ニ撤囘シテ改メテ提出スルガ如キ考ヘヲ持ッテ居リマセヌデゴザイマス

尙ホ其ノ次ニ指示セラレテアリマスコトハ、小作人ガ自作農化シタル場合、再ビ小作人ニ轉落セザルヲ保障スル爲ノ制度、右保障ノ策ハ左記條項ニ依ルベシ、一、適正利率ニ依ル農村長期及ビ短期信用ノ普及確保、二、加工業者及ビ配給業者ノ搾取ニ對スル農民ノ保護手段、三、農産物價格ノ安定策、四、農民ニ對スル技術上其ノ他ノ啓發事項普及ノ計畫、五、非農民的利害ニ支配セラレズ、且ツ日本ノ農民ノ經濟的、文化的進歩ヲ目的トスル農村協同運動ノ醸成竝ニ奬勵計畫是ガ一項デアリマス

最後ニ尙ホ、日本帝國政府ハ上記項目以外ニ於テ農民ノ國民經濟ヘノ寄與ニ相應スル農民ノ國民所得ノ分前ノ享受ヲ保障スル爲メ、必要ト認メラル、計畫ヲ提出スベシ、斯ウ云フノデゴザイマス、此ノ二項ニ付キマシテハ、現ニ施策ヲ致シテ居ル所モアリマスルシ、又次ノ議會ニ此ノ指示ニ依ッテ、必要ナモノハ提案ヲ致シ、又其ノ間ニ急ギマスモノハ緊急勅令ヲ以テ措置ヲ致シタイト存ジテ居リマス、以上御答ヘヲ申上ゲマス

ソレカラモウ一ツ失念致シマシタガ、此ノ指示ヲ受ケマシタ以上ハ、議會ノ修正ハドウカト云フ御尋ネデゴザイマス、勿論議會ニ於ケル修正權ハ是ハ當然ノ權利デゴザイマシテ、之ニ對シテ私共ハ彼レ此レ申スコトハ出來マセヌ、併シナガラ「マッカーサー」司令部ノ此ノ指令ハ、其ノ上ニ立ツ絶對ノモノデアルコトハ、是レ亦申上ゲルマデモナイ所デゴザイマス

○清水留三郎君　簡單デアリマスカラ、此ノ席カラ御許シヲ願ヒマス――只今農林大臣ノ御答辯ヲ承リマシタガ、只今此處ニ總理大臣ガ見エマセヌ、私ノ質疑ノ中ニ於キマシテ、若シ農地關係ノ法律ガ此ノ兩院ノ審議ガ終ルマデ、所謂會期中ニ、是等ノ案ガ審議終了シナイ場合ニ於テハ、政府ハ議會ノ會期ヲ延長スル考ヘガアルカドウカト云フ質問ヲ致シタノデゴザイマスルガ、此ノ點ニ付テ御答辯ガアリマセヌ、若シ農林大臣カラ之ニ付テ御答辯ガ出來マスレバ結構デアリマス、サウデナケレバ、何カノ機會ニ於テ總理大臣カラ御言明ヲ戴キタイノデアリマス

○議長（島田俊雄君）　他ノ機會ニ於テ總理大臣カラ御答ヘガアルデアリマセウ――是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、本件ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○長野高一君　本件ハ議長指名三十六名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君）　長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○長野高一君　議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此ノ際政府提出貿易資金設置ニ關スル法律案ヲ議題トナシ其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君）　長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ――貿易資金設置ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス――澁澤大藏大臣

◆

貿易資金設置ニ關スル法律案（政府提出）

第一讀會

貿易資金設置ニ關スル法律案

第一條　政府ノ行フ貿易ノ決濟ノ爲貿易資金ヲ置ク

第二條　本資金ハ五千萬圓トシ爲替交易調整特別會計昭和十九年度ノ決算上ノ剩餘ノ中ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　本資金ニ不足ヲ生ジタルトキハ政府ハ爲替交易調整特別會計ノ負擔ニ於テ借入金ヲ爲シ一時之ヲ補足スルコトヲ得

前項ノ借入金ハ遲クトモ翌年度ニ於テ之ヲ償還スベシ

政府ハ第一項ノ規定ニ依ル借入金ニ代ヘ當該年度内ニ限リ國庫餘裕金ヲ繰替使用スルコトヲ得

第四條　本資金ハ之ヲ貿易物資、外貨又ハ勅令ノ定ムルモノニ運用スルコトヲ得

本資金ノ運用ニ關スル事務ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第五條　本資金ノ運用ニ伴フ資金運用利殖金及附屬雜收入竝ニ本資金ノ運用ニ伴フ事務取扱費、資金運用手數料、附屬諸費及資金運用損失金ハ之ヲ爲替交易調整特別會計ニ屬セシム

爲替交易調整特別會計ニ於テ前項ノ規定ニ依リ屬セシメラレタル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政

府ハ同會計ノ負擔ニ於テ借入金ヲ爲スコトヲ得

第六條　本資金ニ屬スル資產ニシテ滅失シ又ハ價格ノ減損ヲ生ジタルモノアルトキハ爲替交易調整特別會計設置等爲替交易調整法第四條ノ規定ニ拘ラズ爲替交易調整特別會計ノ決算上生ジタル剩餘ヲ以テ之ヲ償却シ又ハ資金ヨリ之ヲ償却スベシ

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣子爵澁澤敬三君登壇〕

○國務大臣（子爵澁澤敬三君）　只今議題トナリマシタ貿易資金設置ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ御說明致シマス

今回聯合國最高司令官ノ指示ニ基キマシテ、政府ニ於キマシテ、物資ノ輸出及ビ輸入ヲ行フコトト相成リマシタル所、是ガ運營ニ付キマシテハ、新タニ輸出及ビ輸入ノ決濟ニ關スル資金ヲ設ケ、輸出物資ノ買入及ビ輸入物資ノ買入等ヲ此ノ資金ノ運用トシテ行ヒ、之ニ伴ッテ生ズル所ノ歲入歲出ハ之ヲ爲替交易調整特別會計ノ所屬ト致シ、貿易ノ圓滑ナル運營ニ萬遺憾ナキヲ期スルヲ適當ト認メマシテ、茲ニ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長（島田俊雄君）　本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○長野高一君　本案ハ政府提出鹽專賣法中改正法律案外一件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君）　長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○長野高一君　委員ニ付託シタル議案ノ審查終了ヲ待ツ爲メ暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君）　長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君）　御異議ナシト認メマス、暫時休憩致シマス

午後二時五十三分休憩

* * *

午後六時三十分開議

○議長（島田俊雄君）　休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○長野高一君　議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、衆議院議員選擧法中改正法律案及ビ昭和十三年法律第八十四號中改正法律案ノ兩案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君）　長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ――衆議院議員選擧法中改正法律案、昭和十三年法律第八十四號中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス――委員長淸瀨一郎君

* * *

衆議院議員選擧法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

昭和十三年法律第八十四號中改正法律案（大東亞戰爭ニ際シ召集中ノ者ノ選擧權及被選擧權等ニ關スル件）（政府提出）第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一衆議院議員選擧法中改正法律案

（政府提出）

右ハ本院ニ以テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二十年十二月十一日

委員長　淸瀨一郎

衆議院議長島田俊雄殿

〔別紙〕（小字及――ハ委員會修正）

衆議院議員選擧法中改正法律案中左ノ通修正ス

第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

選擧人ハ投票所ニ於テ左ノ區分ニ從ヒ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人又ハ數人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

一　選擧スベキ議員ノ數五人以下ノ選擧區ニ於テ一人

二（一）　選擧スベキ議員ノ數六人以上十人以下ノ選擧區ニ於テハ二人以內

三（二）　選擧スベキ議員ノ數十一人以上ノ選擧區ニ於テハ三人以內

第五十二條第一項中「左ノ投票」ヲ「第二十七條第一項第一號ノ規定ノ適用アル選擧區ニ於ケル投票ニシテ左ニ掲グルモノ」ニ改ム

（第五十二條）第五十二條ノ二　第二十七條第一項第二號又ハ第三號ノ規定ノ適用アル選擧區ニ於ケル投票（以下連記投票ト稱ス）ニシテ左ニ掲グル（投票）モノハ之ヲ無效トス

一　成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二　議員候補者ニ非ザル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三　議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住居又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

連記投票中ノ左ニ掲グル氏名ノ記載ハ之ヲ無效トス

一　第二十七條第二號又ハ第三號ノ規定ニ依リ選擧スベキ議員ノ數ヲ超エ記載シタル末尾ノ氏名

二　被選擧權ナキ議員候補者ノ氏名

三　自書セザル議員候補者ノ氏名

四　議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キ氏名

五　衆議院議員ノ職ニ在ル者ノ氏名

前項第五號ノ規定ハ第七十五條又ハ第七十九條ノ規定ニ依ル選擧ノ場合ニ限リ之ヲ適用ス

（第五十二條ノ二）第五十二條ノ三　投票ニ同一議員候補者ノ氏名ノ二以上ノ記載アルトキハ之ヲ一ノ記載ト看做ス

第八十八條　削除

第八十九條　議員候補者又ハ推薦屆出者（推薦屆出者數人アルトキハ其ノ代表者）ニ非ザレバ選擧事務所ヲ設置スルコトヲ得ズ

前項ノ者選擧事務所ヲ設置シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選擧事務所（其ノ數二箇所以上ナルトキハ主タル選擧事務所）所在地ノ警察官署ニ屆出ヅベシ選擧事務所ニ異動アリタルトキ亦同ジ

第九十條中「三箇所」ヲ「五箇所」ニ改ム

第九十三條　削除

第九十三條ノ二ヲ削ル

第九十四條第一項、第三項及第四項ヲ削ル

第九十五條ヲ削リ第九十五條ノ二ヲ第九十五條トス

第九十六條　削除

第九十七條　削除

第八十八條乃至第九十七條

第九十八條ノ二中「第九十六條第一項但書ノ規定ニ依ル」ヲ削ル

第九十八條ノ三ヲ削ル

第九十八條ノ二及第九十八條ノ三ヲ削ル

第百條及第百條ノ二ヲ削ル

第十一章中第百一條ノ前ニ左ノ二條ヲ加フ

（第百一條）第百條　議員候補者ハ選擧運動ノ費

用ノ支出ニ關スル責任者（以下支出責任者ト稱ス）一人ヲ選任スベシ但シ議員候補者自ラ支出責任者ト爲リ又ハ推薦屆出者（推薦屆出者數人アルトキハ其ノ代表者）議員候補者ノ承諾ヲ得テ支出責任者ヲ選任シ若ハ自ラ支出責任者ト爲ルコトヲ妨ゲズ

議員候補者ノ承諾ヲ得ズシテ其ノ推薦ノ屆出ヲ爲シタル者ハ前項但書ノ承諾ヲ得ルコトヲ要セズ

議員候補者ハ文書ヲ以テ通知スルコトニ依リ支出責任者ヲ解任スルコトヲ得支出責任者ヲ選任シタル推薦屆出者ニ於テ議員候補者ノ承諾ヲ得タルトキ亦同ジ

支出責任者ハ文書ヲ以テ議員候補者及選任者ニ通知スルコトニ依リ辭任スルコトヲ得

支出責任者ノ選任者（自ラ支出責任者ト爲リタル者ヲ含ム）ハ直ニ其ノ旨ヲ選擧區內警察官署ノ一ニ（第八十九條第二項ノ屆出アリタル）屆出ヅベシ

（警察官署ニ屆出ヅベシ支出責任者ニ異動アリタルトキ亦同ジ）

支出責任者ニ異動アリタルトキハ前項ノ規定ニ依リ屆出ヲ爲シタル者直ニ其ノ屆出ヲ爲シタル警察官署ニ其ノ旨ヲ屆出ヅベシ

第百條ノ二（第百一條ノ二）ノ規定ニ依リ支出責任者ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ハ前項ノ例ニ依リ屆出ヅベシ其ノ之ヲ罷メタルトキ亦同ジ

第百條ノ二（第百一條ノ二）　支出責任者故障アルトキハ選任者代リテ其ノ職務ヲ行フ推薦屆出者タル選任者（自ラ支出責任者ト爲リタル者ヲ含ム）モ亦故障アルトキハ議員候補者ノ承諾ヲ得ズシテ其ノ推薦ノ屆出ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外議員候補者代リテ支出責任者ノ職務ヲ行フ

第百一條（第百一條ノ三）　立候補（準備ノ爲ニ要スル費用及）ノ屆出アリタル後ニ於テハ議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ゼズシテ支出スル費用ヲ除クノ外選擧運動ノ費用ハ支出責任者ニ非ザレバ之ヲ支出スルコトヲ得ズ但シ支出責任者ノ文書ニ依ル承諾ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラズ

（第百四條中第三號乃至第五號ヲ左ノ如ク改ム）

（三　第六十七條第一項乃至第三項ノ屆出アリタル後議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ジテ支出シタル費用以外ノモノ）

（四　立候補準備ノ爲ニ要シタル費用ニシテ議員候補者若ハ支出責任者ト爲リタル者ノ支出シタル費用又ハ其ノ者ト意思ヲ通ジテ支出シタル費用以外ノモノ）

第百四條　左ノ各號ニ掲グル費用ハ之ヲ選擧運動ノ費用ニ非ザルモノト看做ス

一　選擧ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル日前ニ於ケル選擧運動ノ爲ニ要シタル費用

二　選擧ノ期日後ニ於テ選擧運動ノ殘務整理ノ爲ニ要シタル費用

三　議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ゼズシテ支出シタル費用（立候補ノ屆出前ニ於テ其ノ者ト意思ヲ通ゼズシテ支出シタル費用ヲ含ム）

四　議員候補者ガ乘用スル船車馬等ノ爲ニ要シタル費用（其ノ者ノ立候補ノ屆出前ニ於ケル當該費用ヲ含ム）

第百六條第一項中「選擧事務長」ヲ「支出責任者」ニ、「第八十八條第五項」ヲ「第百條第五項」（第百一條第五項）ニ改ム

第百九條中「選擧事務長」ヲ「支出責任者」ニ、「第九十五條」ヲ「第百條ノ二」（第百一條ノ二）ニ改メ「選擧事務所、選擧委員、選擧運動ノ爲使用スル勞務者其ノ他ニ關スル事務ト共ニ」ヲ削ル

第百十六條第一項中「、選擧事務長若ハ選擧委員」ヲ「若ハ選擧運動者」ニ、「選擧事務所」ヲ「選擧運動事務所」ニ改ム

第百二十四條及第百二十五條　削除

第百二十六條中「前條但書ノ例ニ依ル」ヲ「仍其ノ編輯人及實際編輯ヲ擔當シタル者ヲ罰ス」ニ改ム

第百二十九條中「第九十五條ノ二、第九十六條第一項、」（「第九十五條」ニ改ム）「若ハ第九十八條ノ二」及「又ハ第九十四條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサル者」ヲ削ル

第百三十條　削除（第百三十條第二項ヲ削ル）

第百三十一條中「第八十九條第一項、」ヲ削ル

第百三十二條第一項中「第八十八條第五項乃至第七項又ハ第八十九條第四項」ヲ「第百條第五項乃至第七項」（「第八十九條第二項又ハ第百一條第五項若ハ第六項」ニ改ム）ニ改メ同條第二項ヲ削ル

第百三十四條中〇（〇「第百一條」ヲ「第百一條ノ三」ニ改メ）「一年以下ノ禁錮」ノ下ニ「又ハ五百圓以下ノ罰金」ヲ加フ

第百三十七條第一項中「第百三十條及」ヲ削ル

第百四十條第一項中「選擧事務長」ヲ「推薦屆出者」ニ改ム（メ左ノ二項ヲ加フ）

（地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ議員候補者ノ氏名黨派別等ヲ新聞紙ニ公告スベシ）

（市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ議員候補者ノ氏名等ノ掲示ヲ爲スベシ）

附　則

本法ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ及召集中ノモノノ選擧權及被選擧權ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

本法ニ依リ初テ議員ヲ選擧スル場合ニ於テ衆議院議員選擧法第十八條ノ規定ニ依リ難キトキハ勅命ヲ以テ別ニ總選擧ノ期日ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル總選擧ニ必要ナル選擧人名簿ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得但シ其ノ選擧人名簿ハ次ノ選擧人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

戶籍法ノ適用ヲ受ケザル者ノ選擧權及被選擧權ハ當分ノ內之ヲ停止ス

前項ノ者ハ選擧人名簿ニ登錄セラルルコトヲ得ズ

昭和二十年十二月二十日以後昭和二十一年十二月十九日迄ノ間ニ行ハルル選擧ニ關シテハ選擧人名簿ニ登錄セラルルコトヲ得ザル者選擧人名簿ニ誤載セラレ投票ヲ爲スモ之ヲ理由トシテ衆議院議員選擧法第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ヲ提起スルコトヲ得ズ

衆議院議員選擧法第百四十條第一項ノ規定ハ次ノ總選擧ニ限リ之ヲ適用セズ

沖繩縣、北海道廳根室支廳管內國後郡、沙那郡、擇捉郡、蘂取郡及色丹郡並ニ花咲郡齒舞村水晶島、勇留島、志發島、多樂島及秋勇留島並ニ海上交通杜絕其ノ他特別ノ事情アル地域ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノニ於テハ勅令ヲ以テ定ムル迄ハ選擧ハ之ヲ行ハズ

前項ニ掲グル地域ニ於テ初テ行フ選擧ニ關シ〇（〇選擧ノ方法其ノ他）必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

報告書

一昭和十三年法律第八十四號中改正法律案

（大東亞戰爭ニ際シ召集中ノ者ノ選擧權及被選擧權等ニ關スル件）

（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二十年十二月十一日

委員長　淸瀨　一郎

衆議院議長島田俊雄殿

〔淸瀨一郎君登壇〕

○淸瀨一郎君　只今議題ニ供サレマシタ衆議院議員選擧法中改正法律案外一件ノ審議ノ經過ト結果ヲ御報告申上ゲマス

本案ハ終戰後日本ノ新發足ノ第一歩デアリマスル重大議案デアリマス、委員會ハ本月四日ノ午前カラ本日ノ午後ニ至ルマデ一週間、毎日連續午前午後熱心ナル審議ヲ重ネタノデアリマス、審議致シマシタ事項ハ實ニ多岐ニ亙ッテ、而モ重大ナコトバカリデアリマスルガ、詳細ハ速記錄ニ讓リタイト存ジマス、何卒御覽ヲ願ヒマス、唯主ナ事項ダケヲ申上ゲマスレバ、本案デハ選擧權ノ年齡ヲ二十五歳カラ二十歳ニ下ゲ、被選擧權ヲ三十歳ヨリ二十五歳ニ引下ゲテ居リマス、婦人ニ參政權ヲ與ヘ、年齡資格ニ付テハ前同樣ニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ本案ノ特色ハ大選擧區制ヲ採用シタノデアリマス、又比例代表ノ代案ト致シマシテ、制限連記ヲ或ル程度採用シタノデアリマス、尙ホ政府ハ選擧運動ヲ簡素化スル、又明朗ニスルト云フノデ、現行法ニアル多數ノ制限規定ヲ削除スルノ案ヲ出シマシタ、此ノ外ニ衆議院議員選擧法ニハ多數ノ重要問題ヲ含ンデ居リマスルガ、是ハ政府ノ提案ノ中ニハ入ッテ居リマセヌ、例ヘバ衆議院議員ノ他ノ官職兼任ノ問題、華族ノ選擧權、被選擧權ノ問題、ナゼ是ガ入ッテ居ラヌカヲ聽キマスルト、政府ノ辯明ハ、此ノ選擧法デ新タニ代議士ヲ選出シテ、新議會ガ出來レバ、ソコデ選擧法ノ審議會ノヤウナモノヲ作ッテ、更ニ選擧法全體ニ付キ徹底的審議ヲシテ戴クノダ、今回ハ緊急ナルモノバカリヲ提案シタノデアルト云フ辯明デアリマス、今申ス通リ質疑應答ノ詳細ハ申上ゲマセヌガ、委員會ヲ代表致シマシテ昨日午後ニハ、委員長ヨリ内閣總理大臣ニ對シ重要ナル質問ヲ致シタコトガ一ツアリマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

ソレハ政府ハ今回ノ選擧法ノ改正ノ目標ハ、純正健全ナル新議會ヲ建設スルノダト云フコトヲ本會議デモ、委員會ニ於テモ繰返シテ言ッテ居ルノデアリマス、併シ其ノコトハ如何ニモ形式的ノ答辯デアル、新シイ議會ヲ作ルト云フコトハ形式的ナ答辯デアル、更ニ今度ノ選擧ニハ具體的ノ政治目的ガナケレバナラヌ、彼ノ「ポツダム」宣言ニハ占領軍ハ日本人ガ自由ニ表示シタ意思デ、平和的ノ責任政府ヲ確立シタナラバ撤退スルト云フ規則ガアルノデス、ソレ故ニ我々ハ今後必ズ責任政府ト云フモノヲ打樹テナケレバナラヌ、而モ責任政府ヲ打樹テルノニハ中間デ其ノ論ガ出テモ駄目デアル、日本國民自身ノ、女モ青年モ國民自身ノ意思ヲ根源トシタ責任政府ヲ樹テルト云フコトガ「ポツダム」宣言デアッテ見レバ、今回ノ選擧ニ於テハ其ノ點ヲ國民ニ問フト云フコトガ、選擧ノ目標デハアルマイカト問ヲ發シテ見タノデアリマス、之ニ對シテ内閣總理大臣ハ此ノ問ヲ肯定セラレテ、「ポツダム」宣言ノ其ノ趣旨ハ若シ議會ヲ解散スレバ、選擧ノ際ニハ國民ニ能ク徹底スルヤウニ取計ラフト云フノデアリマシタ、是レダケヲ報告申上ゲテ置キマス、其ノ外ニ選擧干渉ノ問題トカ、公民教育ノ問題、婦人參政ノ問題、婦人ノ民法上ノ地位ト選擧ノ關係等、種々有益ナル質疑應答ノアッタコトハ前ニ申上ゲタ通リデアリマス

而シテ昨日ノ午後ニ質疑ハ終了致シマシテ、本日午前ヨリ討論ヲ始メタノデアリマス、其ノ際ニ社會黨ノ木下郁君、自由黨ノ原玉重君、進歩黨ノ原夫次郎君カラ、各〻政府案ニ對スル修正ノ動議ガ出マシタ、社會黨、自由黨ノ修正ノコトハ第二讀會ニ於テ本議場ニ紹介サルヽト思ヒマスカラ、今ハ省略致シマス、進歩黨ノ修正案ヲ要約シテ申上ゲマスルガ、進歩黨ノ修正案ハ大凡三ツノ主義カラ出來テ居ルノデアリマス、三ツノ主義トハ何ゾヤト言ヘバ、一ツハ制限連記制ノ政府案ニ對スル修正デアリマス、モウ一ツハ選擧公營ノ擴大デアリマス、第三ハ選擧運動ノ合理化デアリマス、此ノ三ツノ「プリンシプル」カラ成ッタノガ進歩黨ノ修正案デアリマス、其ノ第一ノ制限連記制ノコトヲ一言申シマスレバ、凡ソ選擧權ノ實際權ソレ自身ハ國民平等デス、之ニ差等ガアッテハナリマセヌ、唯選擧手續ハ大體均整ヲ得レバ宜イ、ケレドモ選擧手續ト雖モ非常ニ均整ヲ失シ、一方ノ選擧區ノ手續ト、他方ノ選擧區ノ手續トニ開キガアッテハナラヌノデアリマス、然ルニ政府案デハ、我ガ國選擧區ニ於テ僅カニ七縣ニ於テハ單記投票ヲヤラセ、他ノ四十何府縣ニ於テハ制限連記ヲヤラス、コンナ一民族一國家ノ國デ選擧手續ガソレ程違フト云フコトハ、是ハ立憲ノ本旨ニ反スルカラ、全部均一ナル制限連記制ヲ採ラウト云フノガ我ガ進歩黨ノ修正ノ一點デアリマス

其ノ次ハ選擧公營ノ擴張デアリマシテ、現行法ニ於テモ選擧公營ハ御承知ノ通リヤッテ居ルノデアリマスルガ、更ニ一ツハ、公營ニ依ッテ各候補者ニ付キ同一ノ條件ヲ以テ政府ガ新聞廣告ヲスルト云フ公營ノ手段ガ一ツデアリマス、モウ一ツハ、公營ニ依ッテ各市町村内適當ノ場所ニ候補者ノ連名廣告ヲシテ、立看板ノ補充ヲスルコトガ一ツデアリマス、更ニ選擧運動ノ合理化ト致シマシテハ、立候補前ノ候補者ノ選擧運動ハ之ヲ禁止スル現行ノ規定ヲ復活シテ居リマス、事務所ノ制限ハヤハリ之ヲスルコトト致シマシテ、其ノ數ハ原則トシテ一箇所、命令ノ定ムル所ニ依ッテ五ツマデハ增設ヲ認メル、選擧當日ハ投票所入口カラ三町以内ニ之ヲ設ケザルコトハ、現行ノ通リニ致シテ居ルノデアリマス、休憩所其ノ他ノ類似設備ハ之ヲ禁止スル、推薦會ノ告知ハ、候補者開催ノ分モ第三者開催ノ分モ張札ノミデ告知ヲスル、張札ノ數ハ制限致シマセヌガ、其ノ大キサハ之ヲ制限スル、斯ウ云フ目的ノ爲ニ法第百條ヲ復活シタノデアリマス、選擧後ノ挨拶行爲ハ張札二百枚ニ限ルト云フ趣意デ、是モ百條ノ二ヲ復活致シマシタ、尙ホ原夫次郎君ノ强キ要望トシテハ、百條ヲ復活致シマシタ結果、内務大臣ニ於テ文書、圖畫ノ制限ヲスル權限ガアル、第三者ト雖モ無制限ニ文書、圖畫ヲ頒布スルコトハ弊害ノ因デアルカラ、之ヲ規制スルノ法規ヲ作ルベキコトヲ要望サレテ居ッタノデアリマス、尙ホ現行法デハ選擧ニ際シテ氣勢ヲ張ル行爲、不法行爲ヲ煽動スル行爲ハ禁ジテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ政府案ハ削除シテ居ルノデアリマス、是ハ妥當ナラズトシテ、原君提案ノ中ニハ、氣勢ヲ張ル行爲、不法行爲ヲ煽動スル行爲ハ現在通リ之ヲ處罰スル規定ヲ復活致シタノデアリマス、概ネ斯クノ如キ案デアリマス

ソコデ討論ヲ終局致シマシテ採決ニ入リマシタ、採決ハ漏レナク逐條ノ採決ヲ致シマシタガ、其ノ結果ハ進歩黨ノ修正案ト、社會黨、自由黨ノ修正案ノ中、進歩黨ト共通ノ分ガ可決サレマシテ、其ノ他ハ否決ニナッテ居リマス、次ニ其ノ餘ノ政府原案ヲ諮リマシタ所、是ハ承認セラレタノデアリマス、是ガ衆議院議員選擧法中改正法律案ノ經過ノ大略デアリマス

次ニ昭和十三年法律第八十四號中ノ

改正デアリマスガ、是ハ現役ヲ解除ニナリマシタ軍人、陸海軍ノ學生、內地ニ歸還致シマシタ今マデノ在外者ノ選擧人名簿ヲ作ルコトデアルコトハ、第一讀會ニ於テ政府發表ノ通リデアリマス、之ニ付キマシテ採決致シマシタ所、滿場一致贊成ヲ得タノデアリマス、以上ヲ以テ此ノ委員會ノ經過竝ニ結果ノ報告ト致シマス

○議長（島田俊雄君）　先ヅ衆議院議員選擧法中改正法律案ヲ審議シ、次ニ昭和十三年法律第八十四號中改正法律案ノ審議ニ入ルコトト致シマス

是ヨリ衆議院議員選擧法中改正法律案ノ審議ニ入リマス、本案ニ對シテハ西尾末廣君及ビ松野鶴平君外十二名ヨリソレゾレ成規ニ依リ修正案ガ提出サレテ居リマスガ、其ノ趣旨辯明ハ第二讀會ニ於テ之ヲ許スコトト致シマス――本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君）　御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○長野高一君　直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君）　長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君）　御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス、此ノ際順次修正案ノ趣旨辯明ヲ許可致シマス――木下郁君

* * *

衆議院議員選擧法中改正法律案　第二讀會

衆議院議員選擧法中改正法律案ニ
對スル修正案（西尾末廣君提出）
（小字及――ハ修正）

衆議院議員選擧法中改正法律案中左ノ通修正ス

第二十七條第一項ノ改正及第五十二條第一項ノ改正ヲ削ル

第五十二條ノ二及第五十二條ノ三ヲ削ル

第五十八條　（地方長官選擧長トナリ選擧會）一府縣又ハ一市一選擧
（ニ關スル事務ヲ擔任ス　但シ事情ニ依リ地方）區タル場合ニ於テハ其ノ地方長
（長官ハ他ノ官吏ヲシテ選擧長ニ指定スルコト）官又ハ市長、其ノ他ノ選擧區ニ於テ
（ヲ得）ハ地方長官ノ指定シタル官吏選擧
長ト爲リ選擧會ニ關スル事務ヲ擔
任ス

第六十四條但書中「第五十八條第一（「第五十八條第一項第）
項第三號ノ規定ニ依リ」及「（支廳長（三號」ヲ「第五十八條但書」ニ改ム）
ヲ除ク）」ヲ削ル

第六十九條第一項中「有效投票ノ最（ヲ左ノ如ク改ム）
多數ヲ得タル者」ヲ「得票最多數ノ
者」ニ、「有效投票ノ總數」ヲ「各議員
候補者ノ得票ノ總數」ニ改ム

有效投票中第一位ノ多數ヲ得タル者ヲ第一順
位ノ當選者トシ其ノ得票中次順位ノ者トノ差
數ヲ其ノ當選者ト同一政黨ニ屬スル次順位ノ
者ノ得票數ニ加算シ其ノ加算シタル得票數ト
前記次順位者ノ得票數トヲ比較シ第二順位ノ
當選者トシ以下同一方法ニ依リ同一政黨所屬
ノ次順位得票者ニ第一順位以下ノ當選者ノ得
票ヲ移讓シ定員數ニ達スル迄ノ得票ノ計算ヲ
爲シ當選人ヲ決定ス

同條第六項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

議員候補者ハ第六十七條第一項ノ屆出ノ日ニ
所屬スル政黨アルトキハ之ヲ選擧長ニ屆出ヅ
ベシ若シ右期日ニ本項ノ屆出ナキトキハ本條
第一項ニ依ル得票ノ移讓ヲ受クルコトヲ得ザ
ルモノトス

第八十八條（及第八十九條）乃至第九十七條　削除

第九十條及第九十一條中「選擧事務所」ヲ「選擧
運動事務所」ニ改ム

第九十三條乃至第九十五條　削除

第九十六條及第九十七條　削除

第九十八條第二項ヲ削ル（左ノ如ク改ム）

推薦狀引札等ニ依ル選擧運動ハ自餘ノ文書ニ
限ル

（第百條ヲ第九十九條ノ二ニ、第百條ノ二ヲ第九）第百條及第百條ノ二ヲ削ル
（十九條ノ三ニ改ム）

第百四條　左ノ各號ニ掲グル費用ハ
之ヲ選擧運動ノ費用ニ非ザルモノ
ト看做ス

一　（議員候補者ガ乘用スル船車馬等ノ爲ニ）選擧ノ期日ノ公布又ハ告示ア
（要スル費用）リタル日前ニ於ケル選擧運動ノ
爲ニ要シタル費用

二　（議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通）選擧ノ期日後ニ於テ選擧運動
（ゼズシテ支出シタル費用）ノ殘務整理ノ爲ニ要シ　費用

三　（選擧期日後ニ於ケル選擧運動ノ殘務整）議員候補者又ハ支出責任者ト
（理ノ爲ニ要シタル費用）意思ヲ通ゼズシテ支出シ（タル）費
用（立候補ノ屆出前ニ於テ其ノ
者ト意思ヲ通ゼズシテ支出シタ
ル費用ヲ含ム）

四　議員候補者ガ乘用スル船車馬
等ノ爲ニ要シタル費用（其ノ者
ノ立候補ノ屆出前ニ於ケル當該
費用ヲ含ム）

第百二十九條中「第九十五條ノ二、
第九十六條第一項、」、「若ハ第九十
八條ノ二」及「又ハ第九十四條ノ規定
ニ依ル命令ニ從ハサル者」ヲ削ル

第百三十二條第一項中「第八十八條
第五項乃至第七項又ハ第八十九條第
四項」ヲ「第百條第五項乃至第七項
ニ、」改メ同條第二項ヲ削ル（中「第百條」ヲ「第九十九條ノ二及第九十九條ノ三」ニ改ム）

別表

選擧區	議員數
東京都	二十二人
大阪府	十八人
兵庫縣	十八人
新潟縣	十五人
愛知縣	十八人
福岡縣	十八人
北海道	二十三人

衆議院議員選擧法中改正法案律ニ
對スル修正案
（松野鶴平君外十二名提出）
（小字及――ハ修正）

衆議院議員選擧法中改正法律案中左ノ通修正ス

第二十七條第一項ノ改正、第五十二條第一項ノ改正、第五十二條ノ二及第五十二條ノ三ヲ削ル

第五十八條　（地方長官ハ選擧長ト爲リ選擧）一府縣又ハ一市一選擧
（ニ關スル事務ヲ擔任ス）區タル場合ニ於テハ其ノ地方長官
又ハ市長、其ノ他ノ選擧區ニ於テ
ハ地方長官ノ指定シタル官吏選擧
長ト爲リ選擧會ニ關スル事務ヲ擔
任ス

（第五十九條　選擧會ハ選擧長ノ屬スル都道府縣）第五十九條中「縣廳」ヲ「都道府縣廳」
（廳ニ之ヲ開ク）ニ改メ、「支廳」ヲ削ル

第六十四條但書中「第五十八條第一（ヲ削ル）
項第三號ノ規定ニ依リ」及「（支廳長
ヲ除ク）」ヲ削ル

第六十九條第一項中「有效投票ノ最（ヲ左ノ如ク改ム）
多數ヲ得タル者」ヲ「得票最多數ノ
者」ニ、「有效投票ノ總數」ヲ「各議員
候補者ノ得票ノ總數」ニ改ム

當選人ハ勅令ノ定ムル所ノ單記移讓式比例代
表ノ方式ニ依リ之ヲ決定ス

第七十二條　當選人定マリタルトキハ選擧長ハ
直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選人
ノ氏名ヲ告示スベシ

當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選擧ニ於ケル
議員ノ定數ニ達セザルトキハ選擧長ハ直ニ其
ノ旨ヲ告示スベシ

第七十二條第一項中「、得票數及其ノ
選擧ニ於ケル有效投票」ヲ「及得票
數、其ノ選擧ニ於ケル各議員候補者
ノ得票」ニ改ム

第七十九條第一項中「同一選擧區ニ
於テ二人」ヲ「當該選擧區內ノ議員ノ
定數ノ四分ノ一（其ノ數二人ニ滿タ
ザルトキハ二人以下之ニ同ジ）」ニ、

同條第五項及第六項中「同一選擧區ニ於テ二人」ヲ「當該選擧區内ノ議員ノ定數ノ四分ノ一」ニ改ム

同條第三項ヲ削リ第五項ヲ左ノ如ク改ム

地方長官第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ缺員ト爲リタル議員ガ選擧ノ期日ヨリ一年以内ニ缺員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ選擧ノ期日ヨリ一年經過後ニ於テ缺員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラザリシ者アルトキ及同一人ニ關シ第七十五條ノ規定ニ依リ選擧ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外其ノ缺員ノ數當該選擧區内ノ議員ノ定數ノ四分ノ一ニ達スルヲ待チ最後ニ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補缺選擧ヲ行ハシムベシ

第百二十四條及第百二十五條　削除

別表

選擧區	議員數
東京都	二十二人
大阪府	十八人
兵庫縣	十八人
新潟縣	十五人
愛知縣	十八人
福岡縣	十八人
北海道	二十三人

〔木下郁君登壇〕

○木下郁君　私ハ只今上程サレマシタ衆議院議員選擧法中改正法律案ニ對スル修正案ニ付キマシテ、日本社會黨ヲ代表シテ修正ノ趣旨ノ辯明ヲ致サントスルモノデアリマス

修正案ハ十四箇條ニ亙リマシテ、相當複雜且ツ多岐ニ亙ルノデ、一ツ〱其ノ條項ヲ朗讀致スコトヲ省略致シマス、唯殊ニ重要ト思ヒマスル部分ニ付テノミ、朗讀致スコトニ致シマスルカラ、ドウカ其ノ餘ノ點ハ委員會ニ於ケル速記錄等ニ於テ御檢討ヲ願ヒタイノデアリマス

修正ノ趣旨ノ第一ハ、條文ト致シマシテハ、第二十七條、五十二條、五十二條ノ二、三、五十八條、六十四條及ビ別表ノ修正デアリマス、是ハ選擧區ニ關スルモノデアリマシテ、東京都其ノ他七ツノ都道府縣ノ選擧區ガ二ツニ分レテ居ルノデアリマス、原案ニ於テ二ツノ選擧區ト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ他府縣同様ニ一選擧區ニ改メントスルモノデアリマス

修正ノ趣旨ノ第二ハ、第六十九條ニ關スルモノデアリマシテ、此ノ修正案中ニ於テ最モ重要ナ部分デアリマスルカラ、一應案文ヲ朗讀致シマス、「第六十九條第一項中『有效投票ノ最多數ヲ得タル者』ヲ『得票最多數ノ者』ニ、『有效投票ノ總數』ヲ『各議員候補者ノ得票ノ總數』ニ改ム」ト原案ニアリマスルモノヲ、「有效投票中第一位ノ多數ヲ得タル者ヲ第一順位ノ當選者トシ其ノ得票中次順位ノ者トノ差數ヲ其ノ當選者ト同一政黨ニ屬スル次順位ノ者ノ得票數ニ加算シ其ノ加算シタル得票數ト前記次順位者ノ得票數トヲ比較シ第二順位ノ當選者トシ以下同一方法ニ依リ同一政黨所屬ノ次順位得票者ニ第一順位以下ノ當選者ノ得票ヲ移讓シ定員數ニ達スル迄ノ得票ノ計算ヲ爲シ當選人ヲ決定ス」ト改メ、同條末項トシテ「議員候補者ハ第六十七條第一項ノ屆出ノ日ニ所屬スル政黨アルトキハ之ヲ選擧長ニ屆出ヅベシ若シ右期日ニ本項ノ屆出ナキトキハ本條第一項ニ依ル得票ノ移讓ヲ受クルコトヲ得ザルモノトス」ノ一項ヲ加ヘルト云フノデアリマス、此ノ條項ノ修正ハ、前ニ申シマシタ第二十七條ト併セテ、日本社會黨ノ主張スル比例代表制ヲ採用スルモノデアリマス、所謂單記移讓式ノ投票ノ計算ノ方法ヲ採ルモノデアリマス、原案ト進歩黨ノ修正案ノ採用致シマスル制限連記式ニ、原則的ニ相反スルモノデアリマス、是ガ此ノ修正ノ最モ大キナ特色デアリマス、此ノ方法ニ依リマスレバ、眞ニ國民ノ意思ガ議會ニ按分シテ反映セラル、ノデアリマス、ト同時ニ得票ノ偏リヲ避ケマシテ、從來アリマシタヤウナ地盤割ト云フヤウナコトハ必要ガナクナツテ、隨テ選擧界ノ弊害ノ一ツノ原因ヲ除去スルコトガ出來得ル譯デアリマス（拍手）此ノ點ガ原案並ニ進歩黨提出ノ修正案ト最モ違フ點デアリマス、原案ノ立案ノ趣旨ハ、地域ガ廣ク且ツ人口ガ多イト云フ點ニアルト思ヒマスルガ、併シナガラ是等ノ事柄ハ他ノ府縣ト比較致シマシテ、單ニ比較的ノコトデアリマス、從來行政上ハ勿論、社會的ニモ政治的ニモ經濟的ニモ都道府縣ト云フモノガ、我々國民ノ生活ノ重大ナ一ツノ單位トナツテ來テ居ルノデアリマス、サウデアリマスルカラ、之ヲ二ツノ選擧區ニ分ケルト云フヤウナコトハ、其ノ從來ノ生活單位ヲ二ツニ分ケルコトニ相成ルノデアリマス、殊ニ東京、大阪、愛知、兵庫ト云フヤウナ府縣ハ、戰災ニ因リマシテ人口ガ一時的ニ都市ノ中心カラ附近ニ散ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ分散シテ居ルコトハ、一時的ナ意味ガ多分ニアルノデアリマス、況ヤ今度ノ改正案原案ガ、大選擧區制ヲ採用致シテ居リマスル以上、其ノ原則ニ從ツテ是等ノ都道府縣モ、其ノ行政區劃單位ニスベキデアルト信ズルノデアリマス、又原案及ビ進歩黨ノ修正案ノ採用シテ居リマスル候補者ノ數ニ依ツテ連記ノ人數ニ差等ヲ設ケマスト云フコトハ、實質的ニハ選擧權ノ效力ニ差等ヲ設ケルコトニ相成ルノデアリマス、サウシテソレハ結果的ニハ選擧權ヲ擴張スルト言ツテ居リマシテモ、選擧權ノ中ニ甲乙ガアル、隨テ少イモノヲ選擧スル人ハ、選擧權ガソレダケ縮小サレルト云フヤウナ結果ニ相成ルノデアリマス

修正ノ趣旨ノ第三ハ、第八十八條乃至百條ニ關スルモノデアリマシテ、屆出前ノ運動禁止ノ現行法第九十五條ノ二ヲ削除シテ居ルノヲ、削除セヌノデアリマス、其ノ要旨ハ、第一ハ選擧運動事務所ノ制限ト、休憩所ノ設置ノ禁止デアリマス、要旨ノ第二ハ立候補屆出前ノ選擧運動ノ禁止ト、選擧後ノ當選御禮ナド云フコトノ制限ト、第三者ノ選擧運動ヲ演說ニ重點ヲ置キマシテ、其ノ推薦狀、引札、「ビラ」等ニ依ル運動ヲ原則的ニ禁止シテ、自筆ニ依ルモノダケヲ許容スルト云フ點ニアルノデアリマス、要旨ノ第三ハ選擧公營主義ヲ徹底シテ、其ノ範圍ヲ擴張セントスルモノデアリマス、要スルニ以上ノ三點ハ選擧費用ヲ少クスルコトヲ主眼トスルモノデアリマスルガ、同時ニ休憩所ヲ禁止スルト云フ如キコトハ、議員ノ威信ヲ保持シ、併セテアノ忌マハシイ買收、饗應ト云フヤウナ事柄ノ機會ヲ少カラシメントスルモノデアリマス、此ノ點ガ我々ノ修正案ガ、自由黨ノ修正案ト最モ違フ點デアリマス、選擧ニ金ガ多ク掛ルト云フコトハ、無產新人ノ進出ヲ阻碍シ、又反面ニ於キマシテハ、資本家ニ暗躍ノ機會ヲ與ヘテ、政界ニ所謂「ボス」ト云フヤウナモノヲ誘致スル最大ノ原因デアリマスルカラ、我々ハ此ノ點ノ修正ニ依リマシテ、此ノ短所弊害ヲ除去防止セントスルモノデアリマス（拍手）

修正ノ趣旨ノ第四ハ、第百二十九條、第百三十條、第百三十二條等ニ關スルモノデアリマシテ、是ハ以上ノ修正ニ伴フ罰則規定ノ立法技術的修正デアリマスルカラ、說明申上ゲル必要ハナイト存ジマス、要スルニ修正ノ眼目ハ、原案ノ制限連記制デハ投票ガ偏ツテ、民意ガ十分ニ反映サレヌコトト、投票權ガ實質上二、三ニセラレルト云フ選擧權ノ公平ノ原則ニ反スルモノナルガ故ニ、此ノ點ヲ一人一票ノ比例代表ニ

改メ、同時ニ選擧費用ヲ縮減セントスルモノデアリマス

諸君、「ポツダム」宣言ハ敗戰國日本ニ取リマシテ至上命令デアリマス、之ヲ忠實ニ履行致シマスコトガ、我々日本國民ニ取ツテ最高ノ義務デアリマスルト同時ニ、此ノ度ノ戰ヒノ如キ恥多キ戰ヒニ參與シマシタ我々議員、苟クモ國政ニ參與スル我々議員トシテハ、過去ノ誤謬ヲ勇敢ニ淸算シ、改メテ軍國主義、封建主義ノ殼ヲハツキリト取去ツテ、一切ノ行掛リヲ捨テテ、速カニ民主主義ノ日本、眞ニ平和愛好國タル日本ヲ建設スル爲ニ邁進スルコトガ、我々議員ニ課セラレタ義務デアルト思フノデアリマス（拍手）斯クスルコトガ我々ガ此ノ際我々ノ祖先及ビ先輩　竝ニ我々ノ子孫ニ對シマシテナスコトノ出來ルセメテモノ罪ノ贖ヒデアルト私ハ信ズルノデアリマス（拍手）此ノ意味ニ於キマシテ、私ハ政府ガ現行選擧法ノ官僚的ナ繁文褥禮ノ部分ニ付テ大斧鉞ヲ加ヘ、選擧干渉ノ機會ヲ少クシマシタ點、及ビ婦人參政權ヲ初メト致シマシテ、選擧權ハ大幅ナ擴張ヲナシマシタコトニ對シマシテハ、多大ノ敬意ヲ拂フモノデアリマスルガ、唯惜ムラクハ以上述ベマシタ諸點ニ付テ、畫龍點睛ヲ缺クト申シマスレバ、少シク言葉ガ過ギルカモ知レマセヌガ、少クドモ百尺竿頭一歩ヲ進メナカツタ點ニ付テ、甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス（拍手）

尙ホ此ノ機會ニ直接選擧法ニハ關係致シマセヌガ、選擧法施行令ニ規定サル、選擧公營ノ方法ニ關シマシテ、政府ガ公費ヲ以テ候補者ノ氏名、閱歷、政見等ヲ揭示スルトカ、或ハ新聞紙ニ公告スルトカ、演說會場ヲ斡旋スルトカ、「ラジオ」ノ放送ヲ利用スルトカ、無料郵便物ヲ禁止スル等ノ措置ヲ徹底的ニ講ゼラレンコトヲ希望致シマスルト共ニ、選擧法ノ改正ト竝行シマシテ、選擧訴訟手續ヲ迅速ニスル、殊ニ普通裁判所ガ原告ノ請求ヲ通サナイ場合ニハ、請求ヲ棄却スト言ツテ居リマスルガ、行政裁判所ニ於キマシテハ、原告ノ請求相立タズト云フヤウナ、封建的ナ言葉ガ用ヒラレテ居リマス、而モ行政裁判所ニ於キマシテハ、審理ガ終リマシテ判決ヲ言渡スマデノ間ニ、二年三年掛ルコトハ稀デアリマセヌ、甚ダシキハ二十幾年ヲ待タシテ居ルヤウナコトガアリマス、斯樣ナ非常識ナ裁判所ノ制度ニ對シマシテ、根本的ニ改廢サレナカツタコトヲ遺憾ニ存ズルノデアリマス、此ノ革命ノ渦卷ノ漂ツテ居ル現下ノ國政ヲ擔當スル政府トシマシテ、私ハ積極的氣魄ニ缺ケテ居ルト云フ點ヲ感ズルコトヲ、甚ダシク遺憾ニ思フノデアリマス（拍手）少シク長クナリマシタガ、以上述ベマシタノガ、私共ノ修正案ヲ提出致シマシタ趣旨デアリマス、ドウカ其ノ趣旨ヲ十分御酌ミ取リ下サイマシテ、一切ノ行掛リヲ捨テテ御贊成アランコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス（拍手）

○**議長（島田俊雄君）**　原玉重君

〔原玉重君登壇〕

○**原玉重君**　只今提案サレテ居リマス衆議院議員選擧法中改正法律案ニ付テ、修正案ヲ提出シ其ノ趣旨ヲ辯明致シマス、先ヅ案文ヲ朗讀スル所デアリマスルガ、御許シヲ得マシテ此ノ儘速記ニ載セテ戴キ、其ノ要旨ダケヲ述ベルコトニ致シタイト思ヒマス

大日本自由黨ヨリノ修正案ハ、大體ニ於テ三點デアリマス、第一ハ大選擧區制ノ徹底デアリマス、第二ハ單記移讓式比例代表ノ採用デアリマス、第三ハ現行法百二十四條、百二十五條ノ存置デアリマス、今日ノ日本ノ現狀ニ付テ、愈々我々ハ眞正ナル民主主義ヲ確立致シマシテ、新日本ヲ建設シナクテハナラヌ時ニ到來シタノデアリマスルガ、此ノ際此ノ劃期的ナ選擧法ノ改正案ガ提出サレタコトニ付テハ、當局ニ其ノ勞ヲ多トスル者デアリマス、殊ニ婦人ノ參政權、或ハ選擧權、被選擧權ノ年齡低下等ニ付キマシテハ、滿腔ノ贊意ヲ表スル者デアリマス、此ノ選擧權擴張、或ハ取締規則ノ解放、明朗闊達ナル選擧ノ要望ト云フヤウナ政府ノ本案提出ノ理由ニ付キマシテハ、洵ニ御尤モデアリマスルガ、併シ其ノ政府ノ要望シテ居ラレル所ノ目的ヲ達スル爲ニハ、ドウシテモ茲ニ二、三ノ修正ガ必要ト考ヘルノデアリマス、政府案ニ付テハ其ノ言ハル所ハ洵ニ尤モデアリマスルケレドモ、事實其ノ案ニ付テハ相當不徹底ナル曖昧模糊タル所ガアルト考ヘルノデアリマス、先ヅ第一ニ選擧區制ノ問題デアリマスガ、選擧區制ニ付キマシテハ大選擧區、大選擧區ト言ハレマスルガ、本案ニ於テハ我ガ國都道府縣七ツニ付テ之ヲ一都道府縣ヲ一選擧區ニセズニ二ツニ割ツテアルノデアリマス、抑々選擧ニ付テ大選擧區制ガ議員候補者ノ選擇ノ自由ヲ增大セシメ、固著シテ居ル此ノ選擧基盤ヲ打破シテ新人物ヲ出シ、國家的人物ヲ當選セシメテ新日本ヲ建設スルニハ最モ適シテ居ルト云フコトハ、是ハモウ輿論ノ一致シテ居ル所デモアリマスルシ、又政府當局ニ於テモ本案提出ノ理由ニ於テハツキリ申サレテ居ルノデアリマス、ニモ拘ラズ案其ノモノニ於キマシテ、七ツノ都道府縣ニ於テハ之ヲ二ツニスルト云フコトニ付テハ、洵ニ矛盾撞著モ甚ダシイモノト思フノデアリマス、殊ニ之ヲ二分シナクテハナラヌト云フ理由ハ一ツモ政府ハ述ベラレマセヌ、質問ニ對シテ間々答辯ハアリマシタケレドモ、肯定スルヤウナ理由ヲ申述ベテハナイノデアリマス、何ノ理由デ此ノ七ツダケガ二分シナクテハナラナイカト云フコトニ付テハ、全ク唯從來ノ行掛リ上、此ノ七ツダケ、縣ガ餘リ大キイカラト云フヤウナコトデ二分スルト云フコトニナツテ居リマスルガ、社會黨ノ修正趣旨ヲ辯明セラレタ方カラ言ハレタ通リニ、各府縣都道各々ノ事情ガアツテ、一ツノ都道府縣ヲナシテ居ルノデアリマシテ、ソレガ或ハ小サク或ハ大キクアリマシテモ、若シ大選擧區制其ノモノガ宜カツタナラバ、當然是モ同ジヤウニ大選擧區制ヲ用フベキモノデアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味合ニ於テ此ノ原案ノ七都道府縣ニ付キマシテモ、一都道府縣ヲ一選擧區トスルト云フヤウニ、本當ノ大選擧區制ヲ採用シタイト云フノガ修正ノ第一點デアリマス

修正ノ第二點デアル所ノ單記移讓式比例代表ノ問題デアリマスルガ、原案ハ制限連記制ヲ採ツテアル、是ハ洵ニ不合理極マルモノト考ヘマス、是亦只今木下君カラ申述ベラレマシタカラ、其ノ詳細ノ說明ヲ省略致シマスガ、全國ノ人口ニ依リ、各々選擧區ニ對シテ其ノ人口ノ比例ニ依ツテ公平ニ議員定數ガ割當テ、アルノニモ拘ラズ偶々定員數ガ少イカラ一人ガ一票シカ投票出來ナイ、定員ノ議員數ガ多イカラ二票三票ヲ入レルコトガ出來ルト云フ風ナコトハ、何處マデモ不合理極マルコトデアラウト思フノデアリマス、大選擧區制ヲ採ツタ以上ハ比例代表ニナラナクテハナラヌト云フコトニ付テハ、モウ世界ノ定論デアルト言ツテ少シモ違ヒハナイト思フノデアリマス、政府ニ於キマシテモ其ノ點ニ付テハハツキリ比例代表ガ理想デアルト、此ノ本案提出ノ理由ニ申サレテ居ルノデアリマス、唯比例代表ハ理想デアルケレドモ我ガ國ノ今日ニ於テハ時期尙早デアルト言フ、何デ時期尙早カト言ヘバ、現在ノ政界ノ實情ト選擧人ノ政治訓練ノ點カラ言ツテ時期尙早ダト言ツテ居ラレ

マスガ、現在ノ政界ノ實情ガ時期尙早タラシメテ居ルト云フコトハ、一體何ヲ意味シテ居ルカ、政界ノ實情、卽チ政黨ノ關係ヲ言ツテ居ルカトモ考ヘマスルガ、其ノ政黨關係ニ付キマシテハ、最近堂々ト澤山ノ政黨モ出來テ居リマス、尤モ黨首ヲ迎ヘルコトノ出來ナイヤウナ、中々問題ノ政黨モアルヤウデアリマスルカラ(拍手)サウ云フ點ヲ政府ハ見テ居ラレルカモ分リマセヌガ、今日ノ場合ニ於テ斷ジテ左樣ナ政黨關係デハナイ、比例代表ヲ用ヒルコトノ出來ナイヤウナ政黨關係デハナイト考ヘルノデアリマス、進歩黨ノ諸君ハ此ノ政府ノ原案、謂ハバ現在ノ政黨ヲ侮辱シタヤウナ政府ノ此ノ説明ヲ容認サレテ、サウシテ以テ何等修正ノ擧ニ出ラレナイト云フノハ洵ニ怪訝ニ堪ヘナイノデアリマス(拍手)我々ガ自分カラ本當ニ立派ナ政黨デアル、之ヲ以テ立派ナ政治ガ行ハレルト云フ自信ガアルノデアリマシタナラバ、斯クノ如キ政府ノ、現在ノ政界ノ實情ガ、理想デアル比例代表ヲ行フノニ足リナイナドト云フ言葉ヲ其ノ儘容認シテ、此ノ案ヲ通過サセルコトハ出來ナイト考ヘマス(拍手)願ハクハ進歩黨其ノ他ノ皆サンニ於カセラレマシテモ能ク御考ヘ下サツテ、此ノ政府ノ侮辱的時期尙早論ヲ排シテ、理想デアルト決定的ニ決ツテ居ル比例代表制ヲ御採用アランコトヲ希望スルモノデアリマス(拍手)又政府ハ選擧人ノ政治訓練ガ足ラナイノダ、斯ウ言ハレマスケレドモ、是ハ又政府ノ説明ニ矛盾撞著ガアルト思ヒマス、政府ハ婦人參政權ヤ年齡低下ノ點ニ付テノ説明ト致シマシテハ、非常ニ我ガ國ノ國民ガ進歩發達シテ居ツテ、今國政參與ノ能力ト責任觀念トニ於テモ聊カモ缺クル所ガナイ、斯ウ言ハレテ居ルノデアリマス、左樣ナ國政參與ノ能力ト責任觀念トニ於テ聊カモ缺クル所ノナイ國民ニ對シテ、一方ニ於テ比例代表制ヲ用ヒルコトヲ時期尙早ダト云フノハ洵ニ矛盾撞著セル説明ダト言ハザルヲ得ナイト思フノデアリマス(拍手)私ハ何ノ理由ガアツテ此ノハツキリ自ラ認メテ居ラレル比例代表制ヲ政府ガ御採リニナラヌカ、是亦不可思議ニ考ヘザルヲ得ナイト思フノデアリマス、私ハ此ノ制限連記制ト云フ政府案ニ致シマシタナラバ、色々ノ弊害ガ起ルコトハ間違ヒナイト思ヒマス、殊ニ日本ノ國民ト云フモノハ非常ニ人情深イ、或ル候補者ト或ル候補者トニ賴マレタ、或ハ自分ノ故郷カラ二人ノ候補者ガ出テ居ルト云フヤウナ際ニハ、何トカソコニ人情ガ發露シテ、ドノ黨派ト云フコトヲ考ヘズニ投票サレルヤウナ場合モナキニシモアラズ、左樣ナ場合ニ於キマシテ、甲黨ト乙黨ノ兩方ヘ一票々々ヲ入レタナラバ、其ノ投票ト云フモノハ差引「ゼロ」ニナルト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、一方ニ於テ時期ハ尙早ダ、選擧人ノ政治訓練ガ足ラナイノダト云フ風ニ言ハレルナラバ、尙更左樣ナ危險性ノアル所ノ此ノ制限連記制ハ廢スベキデハナイカト思ヒマス、殊ニ本案ハ明治二十三年ト云フ大昔ニ用ヒラレテ、既ニ廢セラレタ所ノ制度デアリマス、成程我ガ國ハ無條件降伏ヲシタ、聯合國デハ日淸戰爭以前ニ日本ヲ押戻サウトスルカモ知レマセヌガ、政府自ラガ何モ明治二十三年ニ用ヒタ法律ニ逆戻リヲスル必要ハナイト思フノデアリマス(拍手)殊ニ進歩黨ニ於テハ此ノ點ニ付テ修正案ヲ出サレテ、四名以下ノ議員定數ノ場合ニ於テモ、尙ホ二名ノ候補者ニ投票スルコトガ出來ルト云フ案ニ修正スルト云フノデアリマスルガ、是ハ又政府ノ此ノ愚ニ上塗リヲスルモノデハナカラウカト思フノデアリマス、只今ノ委員長報告ニモアリマシタヤウニ、或ル部分ニ於テハ一人ガ一票シカ入レラレナイ、或ル部分ニ於テハ二票、三票入レラレルノガ不公平ダカラシテ、一票入レル所ヲ訂正シテ二票ヅツ二名ノ連記ニスルノダ、斯ウ云フノデアリマスガ、ソレナラ二名連記ニ全部直スナラ又格別デアリマスケレドモ、十名マデノ所ハ二名、十一名以上ハ三名トセラレルト云フコトニ付テハ、一名ト二名ト差、二名ト三名トノ差ト、其ノ點ニ付テノ理論ハ少シモ變ラナイト思フノデアリマス(拍手)ドウ云フ理論ヲ以テ進歩黨ハ此ノ一名ノ所ヲ二名ニ修正サレルノカ、殆ド其ノ理由ガ相立タヌト思フノデアリマス、左樣ニ制限連記ト云フモノガ矛盾撞著甚ダシク、不公平極マル、殊ニ日本人トシテ自分ノ信ズル一人ノ人ニ投票ヲ入レレバ宜イ、二人モ三人モ入レル必要ハ斷ジテナイ(拍手)サウ云フ所ニ色々ノ問題モ亦起ルト思フノデアリマスカラ、モウハツキリ決ツタ、學者間ニ於テモ定論ガアリ、實際的ニモ世界デ用ヒテ居ラレル所ノ大選擧區ニ付テハ單記移讓式比例代表、之ニ此ノ際修正シテ、以テ憲法附屬ノ大法律ガ修正サレ、新日本ノ建設サレル際ニ完璧ナル法律トサレンコトヲ希望スルノデアリマス

第三ノ修正點ハ現行法ノ百二十四條ト百二十五條デアリマス、百二十四條ハ氣勢ヲ擧ゲル場合ニ於テ、之ヲ罰スルコトニナツテ居ル現行法ヲ内務省ニ於テハ之ヲ罰シナイト云フ、之ニ對シテハ進歩黨ニ於テモ此ノ原案ヲ修正シテ罰スルヤウニスルト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、是ハ全ク日本獨得ノ日本式ノ良イ法律ト考ヘルノデアリマス、選擧ト云フモノハ神聖ナモノデアル、眞面目ニオ祭騷ギヲセズニ、本當ニ氏神樣ニモ參拜ヲシテ投票ヲスルト云フ氣持コソ我ガ日本式デアラウト思フノデアリマス、ソレニモ拘ラズ世界ニ立法例ガナイ、餘所ノ國ガチンドン屋デ騷グ、花火松明ヲ揚ゲ、「ラッパ」ヲ吹鳴ラスカラ、日本デモ是ハヤツテ宜イト云フ譯ノモノデハナカラウト思フノデアリマス、折角ノ從來ノ日本式ノ此ノ良イ法律ダケハ殘シテ置イテ、サウシテ眞面目ニ嚴肅ニ選擧ガ行ハレルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、又百二十五條ハ選擧犯罪ヲ煽動スル者ヲ罰スルト云フノデアリマスガ、犯罪ヲ煽動スル者ヲ罰スルノハ當然ダラウト思ヒマス、内務省ニ於テハ何ノ必要ガアツテ之ヲ解放セントサレルノデアリマセウ、或ハ餘リニ自由解放ヲシナクテハナラナイト云フヤウナ點カラ行過ギテ、サウシテ以テ此處マデ解放セヨト云フ風ニ著眼セラレタノカト思ヒマスルガ、是コソ自由デハナクテ、全ク放埓ナル選擧界ヲ現出スルモノデハナカラウカト思ヒマス、尤モ我ガ黨ニ於テハ總テ自由潑剌タル選擧ヲ行ハシメタイト云フ意味ニ於テ、内務省ノ今度ノ原案デアル諸取締規則ヲ解放スル、選擧運動ヲ自由ナラシメルト云フ點ニ付テハ萬腔ノ贊意ヲ表シ、進歩黨ノ如クニ之ヲ元ヘ戻シテ色々ノ細カイ規則ヲ作ラウトスルモノデハアリマセヌ、此ノ點ニ付テハ此ノ選擧法改正其ノモノノ根本精神ガ自由潑剌タル所ノ選擧ヲ行ハシメヨウト云フノニアリマス、民主的ニシヨウト云フノニアリマスルノデ、此ノ根本精神ヲ考ヘテモ斷ジテ色々ノ取締規則ヲ又再ビ作ルベキモノデハナカラウト思ヒマス、殊ニ此ノ細カイ取締規則、形式犯ト云フモノガ選擧干渉ノ導火線ニナリ、政府ガ此ノ細カイ規則ニ依ツテ勞務者ヤ、選擧委員ヲ先ヅ引ツ張ツテ、僅カナコトヲ以テ留置場ニ入レ、ソレカラ段々人權蹂躙ヲシテ、選擧干渉ヲスルト云フノガ今マデノ總テノ前例デアラウト思ハレマス、是ハ皆サン能ク御存ジノコトト思ヒマスガ、此ノ政府ノ選擧干渉ノ導火線ニナルヤウナ細カイ面倒臭イ規則ヲ再ビ又拵ヘテ、アレヲヤツテハイカヌ、之ヲヤツテハイカヌト云フヤウニスルト云フコトハ正ニ逆轉ト言ハザルヲ得ナイト思フノデアリマス(拍手)又社會黨ノ方ニ於テハ事前運動ヲ禁ズルト云フヤウナ御話デアリマスルケレドモ、是亦其ノ事前運動ノ何モノナリヤト云フコトノ識別ハ頗ル不可能デアル、其ノ識別不可能ナ事前運動ト云フモノヲ禁ズルト云フ規定カラシテ、是カラ色々ノ選擧干渉ガ行ハレ、人種蹂躙ガ行ハレルコトニ相成ルノデアリマス、斯クノ如キ選擧ヲ自由闊達ナルモノニサセル爲ニ置カレタル所ノ總テノ今度ノ原案ニ付テハ、我々ハ贊成デアリマスルガ、第百二十四條、第百二十五條ト云フヤウナ、是トハ餘リ關係ノナイモノニ付テハ、特ニ存在セシムル理由ノアルモノニ付テハ原案ヲ修

正シテ、從來通リニ殘サウト思フノデアリマス

以上修正案ノ趣旨ヲ辯明シタ次第ヂアリマスガ、願ハクハ本案提案ノ大方針ニ從ツテ大選擧區ノ徹底、單記移讓式ノ比例代表ヲ用ヒルコトト云フヤウナ點ニ御賛成下サツテ、政府ノ干渉ヲ排スル自由闊達ナル選擧ヲ行ハセル、或ハ大イニ選擧ノ公營ヲ行ハセ、新人ヲ輩出サセルト云フヤウナ措置ト共ニ、是ガ實現致シマシテ新シイ完璧ナル選擧法ガ出來テ、眞ニ民主的ナ選擧ガ行ハレ、議會ガ成立シ、新日本ガ建設出來マスルヤウ皆サンノ御賛成ヲ願ツテ、趣旨辯明ヲ終リタイト思フ次第デアリマス（拍手）

○議長（島田俊雄君） 是ヨリ採決ニ入ルノデアリマスガ、修正點ガ多岐ニ亙ツテ居リマスカラ念ノ爲メ其ノ順序ニ付テ一言申上ゲテ置キマス、即チ採決ノ順序ト致シマシテ、第一ニ委員長ノ報告ニ係ル修正ト共通ナラザル西尾末廣君提出ノ修正案ニ付テ採決致シマス、第二ニ委員長ノ報告ニ係ル修正ト共通ナラザル松野鶴平君外十二名提出ノ修正案ニ付テ採決致シマス、第三ニ西尾末廣君提出ノ修正案ト委員長ノ報告ニ係ル修正トノ共通ノ部分ニ付テ採決致シマス、第四ニ松野鶴平君外十二名提出ノ修正案ト委員長ノ報告ニ係ル修正トノ共通ノ部分ニ付テ採決致シマス、第五ニ共通部分ヲ除キタル委員長ノ報告ニ係ル修正ノ部分ニ付テ採決致シマス、而シテ最後ニ其ノ他ノ政府原案ニ付テ採決スルコトト致シマス

是ヨリ採決致シマス、第一西尾君提出ノ修正案ニ付キ採決致シマスガ、第九十二條及ビ第九十五條ノ二ノ修正ニ付テハ、委員長報告ニ係ル修正ト共通デアリマスカラ、之ヲ除キマス、即チ西尾君提出ノ修正案中、委員長報告ト共通ノ點ヲ除キタル部分ニ付キ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長（島田俊雄君） 起立少數、仍テ共通ノ點ヲ除キタル修正案ハ否決サレマシタ

第二、松野君外十二名提出ノ修正案ニ付キ採決致シマスガ、第百二十四條及ビ第百二十五條ノ修正ニ付テハ委員長報告ニ係ル修正ト共通デアリマスカラ、之ヲ除キマス、又別表ノ修正ニ付テハ只今否決セラレマシタカラ、之ヲ除キマス、即チ松野君外十二名提出ノ修正案中、委員長報告ト共通ノ點ヲ除キタル部分ニ付キ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長（島田俊雄君） 起立少數、仍テ共通ノ點ヲ除キタル修正案ハ否決サレマシタ

第三、西尾君提出ノ修正案ト委員長報告ニ係ル修正ト共通ノ部分、即チ第九十二條及ビ第九十五條ノ二ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長（島田俊雄君） 起立多數、仍テ此ノ共通部分ハ可決セラレマシタ（拍手）

第四、松野君外十二名提出ノ修正案ト委員長報告ニ係ル修正ト共通ノ部分、即チ第百二十四條及ビ第百二十五條ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長（島田俊雄君） 起立多數、仍テ此ノ共通部分ハ可決サレマシタ

第五、委員長ノ報告ニ係ル修正中、第九十二條、第九十五條ノ二、第百二十四條及ビ第百二十五條ヲ除キタル其ノ他ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長（島田俊雄君） 起立多數、仍テ共通ノ部分ヲ除キタル委員長ノ報告ニ係ル修正ハ可決サレマシタ

最後ニ其ノ他ハ政府原案ノ通リ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君） 御異議ナシト認メマス、仍テ其ノ他ハ政府原案通リ決シマシタ、是ニテ本案ノ第二讀會ハ終リマシタ

○長野高一君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君） 長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

* * *

衆議院議員選擧法中改正法律案　第三讀會

○議長（島田俊雄君） 別ニ御發議モアリマセヌカラ第二讀會議決ノ通リ確定致シマシタ（拍手）

次ニ昭和十三年法律第八十四號中改正法律案ノ審議ニ入リマス、本案ノ第二讀會ヲ開タニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君） 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○長野高一君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君） 長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

* * *

昭和十三年法律第八十四號中改正法律案（大東亞戰爭ニ際シ召集中ノ者ノ選擧權及被選擧權等ニ關スル件）　第二讀會（確定議）

○議長（島田俊雄君） 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定致シマシタ（拍手）

○長野高一君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際昭和二十年勅令第五百三十七號ヲ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（島田俊雄君） 長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君） 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ、昭和二十年勅令第五百三十七號（承諾ヲ求ムル件）ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス――委員長淸瀨一郎君

* * *

昭和二十年勅令第五百三十七號（衆議院議員選擧法第十二條ノ特例ニ關スル件）（承諾ヲ求ムル件）（委員長報告）

〔淸瀨一郎君登壇〕

○淸瀨一郎君 只今議題トナツテ居リマスルノハ、衆議院議員選擧法第十二條ノ特例ニ關スル件デアリマス、現行ノ第十二條ニ依レバ毎年九月十五日ノ現在ヲ押ヘテ、六箇月間其ノ市町村ニ居ル者ヲ名簿ニ登載シテ居リマスルガ、本年春カラ戰災ノ結果、人口ノ非常ナ移動ガアリマシテ、六箇月ノ住所ヲ固執スルコトヲ適當トシナイノデアリマス、九月十五日ニ差掛ツテ議會閉會中デアリマシタカラ、政府ハ緊急勅令ヲ以テ此ノ六箇月ノ期間ヲ削除スルコトニシタノデアリマス、委員會ハ滿場一致餘儀ナキコトトシテ之ヲ承認致シマシタ、此ノ段報告致シマス（拍手）

○議長（島田俊雄君） 採決致シマス、本件ニ承諾ヲ與フルニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（島田俊雄君） 御異議ナシト認メマス、仍テ本件ハ承諾ヲ與フルニ決シマシタ、明十二日ハ定刻ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後七時三十七分散會

衆議院議事速記錄第六號中正誤

頁	段	行	誤	正
七六	三	二八—二九	「レフェンレンダム」	「レフェレンダム」
七八	二	六	奇妙天烈	奇妙奇天烈

印刷局